

リニューアルしました

みんなの輪通信 vol.13

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

わ・は・わ宮城野内

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 15 (2003) 年 4 月 9 日

つなぐのはこころ～当事者の声～第1回

「どんなことを望んでいるのか、わからないのよ…」それはボランティアさんの一言でした。精神障害者小規模通所授産施設わ・は・わ宮城野での交流会のひとコマです。ふだん関わることの少ない障害を持った方々…何かお手伝いをしたいけれど、きっかけがつかめないと思っている方も多いのではないかでしょうか。「何が当事者の方にとって障害となっているのか、社会とのバリアーは一体何か」一新年度を向かえて、みんなの輪通信ではその質問に答えてくれた当事者の方の声を4回シリーズでお届けしたいと思います。

そのボランティアさんの声に真っ直ぐ答えてくれたのがYさんです。「一緒に料理などをしても、ちょっとした何気ないアドバイスがすごく嬉しいんです。」笑顔で答えたYさんにボランティアさんもつい笑顔になりました。

Yさんは自律神経失調症とつきあって11年になります。でも「父が私を障害者にしたくなくて」障害者手帳の交付を受けたのが6年前。障害年金、市営バスのふれあい乗車証、そして何より医療控除。そんな福祉サービスがあることを知ったのもその頃でした。それまでは、医療費やおこづかいなどの親にかける負担…その重さはYさんの心にも大きな負担となっていました。「相談できる人もいなくて、とにかく社会との接点がなくなってしまいました。」と当時を振り返ります。

そんなYさんも今は積極的にいろんな所へ出掛けます。支え続けてくれたお父さんと一緒に、社協の行う敬老会などにも参加して「Yちゃん」「Yちゃん」と親しまれています。Yさんがそこへわ・は・わ宮城野の仲間が作ったビーズの指輪をしていった時、おばちゃんたちが「その指輪可愛いねえ。」と誉めてくれました。普段から多めに指輪を持っているYさんは皆にプレゼント。そしてわ・は・わをアピールしてくれたそうです。その場で「ボランティアは募集していないの？」と聞かれたり、つながりがつながりを呼んで発展することもありました。

「家にこもっている時はわからなかった、つながることの大切さ。親子や夫婦とか、血のつながりのある関係ではなく、第三者と交流することの大切さ。わ・は・わで仲間やスタッフに会うこと、ボランティアさんと一緒に作業することは私にとって息抜きなのです。」と話すYさん、さらに「もし今、おうちで苦しい思いをしている人がいたら、ひきこもらないで頑張ってほしい。本人も家族も、勇気を出して一歩外へ出てほしい。いろんな人が助けて、支えてくれるから」と呼びかけます。…つながりの中で調子を取り戻していく自分。だからこそ「つながりの多い社会になってほしい」と話します。ボランティアさんやスタッフに望むことは「…私たちは包み込んでほしいと思うけど、それだけではなくて、その中で背中を押してくれたり、または押しとどめてくれたり…そんな対応が有り難いのです。」Yさんの答えに、声を投げかけてくれたボランティアさんも「私たちは当事者の方の声を聞く機会がなかなか無いので、話してもらえて良かった。」と納得の表情でした。

～各わ・は・わ、グループホームおらほでは随時ボランティアさんを募集中です～

感じたことを話しましょう！！

私が「精神障害」を持つ方々と初めて関わったのは、昨年の4月でした。

それまでは「精神障害」という言葉は聞くものの、実際に関わるという機会は全くなく、どんな手助けが必要なのかなあ？会話のやりとりが困難なのかなあ？など、ただ漠然とした言葉から受けるイメージだけが自分で格別と回っていました。こんな私がわ・は・わの指導員なんてできるのかしら…、と不安ばかりがどんどん大きくなっていました。

しかし、「百聞は一見にしかず」ですね。実際に関わった時の私の素直な感想は、（どこに障害があるの？？）でした。会話のやりとりも、自分の思いを言葉にすることも可能な人たちばかり。作業に至っては逆に教えてもらうことも多々ありました。

障害があることなど感じさせない人たち…。しかし、関わりを重ねていくに連れて、徐々に内側に抱えている不安や悩みに苦しむ姿が見えてきました。何らかの身体的原因（てんかんや脳質性疾患など）や、心理的な原因（人間関係や過酷な労働など）があつて病気になってしまった苦しみと、そしてそのために社会との壁を抱えている人たちがたくさんいることを知りました。

「精神障害者」という言葉に対する社会の偏見の目は、残念なことですがまだまだあるよに感じられます。言葉から受けるイメージだけで、接することから遠ざかっていることはありませんか？「心の病を抱える人たち」として向き合い、社会の中で生きていくことに対して不利な壁（=障害）を一緒に感じられる人が一人でも多くなってほしい、と強く思います。（わ・は・わ宮城野スタッフ 長谷部幸子）

広がれ！みんなの輪～みんなの輪のこれまでとこれから～

- ・ 平成9年 3月25日 仙台市若林区大和町に精神障害者小規模作業所わ・は・わ開所
- ・ 平成10年11月13日 仙台市宮城野区岩切に精神障害者小規模作業所わ・は・わ宮城野開所
(平成14年10月に仙台市宮城野区燕沢に移転)
- ・ 平成13年 4月1日 仙台市若林区沖野に精神障害者小規模作業所わ・は・わ沖野開所
- ・ 平成14年 2月21日 社会福祉法人みんなの輪設立
(わ・は・わが小規模作業所から小規模授産施設へ移行。設置運営主体も生協仙台共同購入会から社会福祉法人みんなの輪へ。)

・ 平成15年 2月1日 仙台市宮城野区燕沢にグループホームおらほ開所
現在、社会福祉法人みんなの輪の施設を利用している人たちは80名を超え、名前のとおり大きなわっかになっています。

そしてその輪はさらに広がり、平成16年には宮城県黒川郡大郷町に知的障害者の更生施設を立ち上げます。現在大郷町には知的障害者のための施設が無く、近隣市町村の施設まで通っており、地元地域の中で生活できない、という状況にあります。そこで大郷町にあった幼稚園が統廃合され、その跡地を無償で貸していただけるということになり、社会福祉法人みんなの輪で「知的障害者通所更生施設」を設置運営することになりました。宮城県、大郷町との協議も進んでおり、今年の初夏には建物の改修工事に着工する予定です。「障害」の枠を越え、わっかはどんどん広がっていきます。広がれ！みんなの輪！

(社福) みんなの輪 理事会報告

●去る3月3日の月曜日、わ・は・わ宮城野において社会福祉法人みんなの輪の第4回理事会を行われた。主な議題は大郷町の知的障害者更生施設の設置・運営のため、只野理事より手をつなぐ親の会が中心になって知的障害者更生施設を支援する後援会が4月を目標に発足することになる旨の報告がなされ了承された。今後、施設の無償貸与の件なども含めて秋の開所を目指し大郷町と具体的に協議していくことが確認された。●事務局より今年度（1月末日まで）の会計報告がなされた。また角山監事より今後法人会計に関しては会計事務所に依頼してはという提案があり、全員異議なく承認された。●各施設より今年度の作業報告及び活動報告がなされた。

～スタッフ紹介～わ・は・わ宮城野より

「はじめまして。わ・は・わ宮城野のスタッフになりました、まりも…じゃなくてアイザワ マサトという者です。好きなことは①光合成をすること（葉緑体が増えるので）②ゴロンとすること（根っこが生えてしますが）③メンバーさんと一緒に何かをすること、の3つが大好きな22才です。メンバーさんといい刺激を受け合って、お互いに成長してゆければいいなあ、と思う今日この頃です。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。」

みんなの輪通信 vol.14

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

わ・は・わ宮城野内

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 15 (2003) 年 6 月 30 日

夢をかたちに～地域の中で共に歩める社会を～

わ・は・わ大郷（仮称）は緑豊かな田園の町、大郷町に開設する知的障害者通所更生施設です。この度大郷町の町議会員を務める只野茂博理事の強力なバックアップのもと、土地建物の無償貸与、改修工事費の町による負担という素晴らしい条件で、社会福祉法人みんなの輪に運営が任せられました。幼稚園舎だった建物は可愛らしい外観、ひろびろとした敷地はレクリエーションなど用途が広がりそうです。「こうなったらしい」とか「こうであってほしい」とか、人が思い描く夢、希望。ハンディを持っている人はその実現が他の人より、きっと難しいと思います。同じ目線に立ってみること。そして同じ夢を見れること。一緒に頑張るところを作りたいと、みんなの輪ではまたひとつ挑戦中です。みなさん応援してください。

(写真1) わ・は・わ大郷（仮称）

「大郷町が目指す『都市と農村が共生できる町づくり』これを基本理念に、すべてのものが共に歩むことができる社会が、1日も早く実現できるよう『わ・は・わ大郷』から発信していきます。」只野茂博

(写真2)

つなぐのはこころ～当事者の声～第2回

今回は様々なイベントで活躍している「わ・は・わオールスターズ」のメンバー、Tさんに話を聞いてみました。自分にとっての音楽、そして障害のある人、ない人との枠を超えた交流について話してくれました。「わ・は・わオールスターズ」が結成されたのは3年前です。わ・は・わ（若林）、わ・は・わ宮城野、わ・は・わ沖野の中で音楽が好きな人たちが「とっておきの音楽祭」に出演するために集まりました。Tさんは生まれつき左の耳が不自由で、補聴器を利用しています。「耳が悪いのをカバーするために、リズム感覚を覚えたくてギターを始めたんです」と答えるそばからギターを弾いているTさんは「オールスターズ」を結成する前から、他のギターグループでも活躍しています。だけどオールスターズの曲目は、ロック調のリズムが多いため、ついていけなくなってしまうことも。「補聴器が演奏以外の音も拾ってしまうから、メンバーのペースに合わせられないんです。」でも、そこはわ・は・わオールスターズ、皆でカバーしあいます。オールスターズのメンバーは利用者さんもスタッフもみんな一緒。「障害がある、なしに関係なくその人がやれることをやろう」がモットーです。みんなで助け合いながら、ひとつのステージを作り上げること。お客様が手を振ってくれたり、ガンバレ！と声をかけてくれること。「音楽を通していろいろな人と仲良くなれた、それがとても嬉しい。」とTさんは言います。次のわ・は・わオールスターズのステージは8月1日（金）ばれった青野木で行われる「宇宙人の祭典」という手作りのお祭りです。わ・は・わオールスターズは新しいメンバーも加入してますますパワーアップしています。どうぞみんなの活躍を観に来てください。

(社福) みんなの輪 理事会報告

● 5月20日の火曜日、わ・は・わ宮城野において社会福祉法人みんなの輪の平成15年度第1回理事会が行われた。主な議題は、グループホーム開設に伴う定款の変更、職員給与等支給規定の変更の報告がなされた承された。また、大郷町知的障害者更生施設の進歩状況と今後の課題についての協議がなされた。今後準備委員を中心に、大郷町と具体性を高めていく事となった。●事務局より経理を14年度決算から上杉会計事務所に依頼している旨の報告がなされた。また、第4回評議委員会で選出された2名の評議委員就任の同意を求めたところ了承された。新評議委員に郷右近 秀俊氏（大郷グリーンファーマーズ代表）菊池 柳秀氏（七郷みつば会代表）

物品支援のお願い

企業の方、一般家庭の方で使わずにいる物品があればぜひご提供ください。連絡は事務局（022-388-4188）まで。ご連絡いただければ取りに伺います。

○キャビネット○事務机・椅子○パソコン（98年以降）○コピー機○電話機○ファックス機○プリンター○電子レンジ○テレビ○ビデオ○テレビ台○冷蔵庫○洗濯機○食器棚○業務用エアコン○カーテン○消火器

みんなの輪通信 vol.15

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 15 (2003) 年 9 月 29 日

マリンバの軽やかな音色とともに…わ・は・わ大郷開所しました

8月31日、大郷町長はじめ、多数のご来賓の列席を賜りましてわ・は・わ大郷の開所式が行なわれました。明日9月1日よりの利用を期待する利用者さん、張り切る新しいスタッフたち、そして温かく見守ってくださる列席者の皆様。外は小雨でも、会場は明るく和やかな雰囲気でした。

そして9月1日スタートしましたわ・は・わ大郷は、園内にハーブ農園を作り始めました。自然豊かな大郷町だけに農業を中心とした作業が多くなります。でも利用者の皆さんはご自宅で畑を持っている方が多く、手慣れた作業はスタッフが教わるほどです。また作業だけじゃなく、休憩時間にはお得意のカラオケを披露したり、お楽しみもいっぱいです。ゆっくりでも確実に、わ・は・わ大郷の雰囲気を利用者さんスタッフ一緒になって作っていきたいと思います。

(写真1) わ・は・わ大郷

範となるような施設を目指して

わ・は・わ大郷 施設長 本間碩直

『緑の丘の赤い屋根とんがり帽子の時計台』の歌詞を思い出すようなわ・は・わ大郷のたたずまい、遠く蔵王連峰、船形連峰の美しい山々を背景に田園に囲まれた素晴らしい環境のもと、施設内では利用者の皆さん元気な笑い声と、職員の明るい声が響いています。大郷に初めての知的障害者更生施設（通所）が、大郷町の英断で、町民、関係機関の期待のもと誕生しました。一日も早く施設運営を軌道に乗せ、誰もが立ち寄りたくなるわ・は・わ大郷、他の施設の範となるようなわ・は・わ大郷にしたいと思っています。

(写真2) 開所式にて スタッフ赤間、施設長本間、利用者の鈴木敏郎さん

つなぐのはこころ～当事者の声～ 第3回

「障害があっても、稼ぎたい！！」でも、まだまだ足りない就労先…

現在、わ・は・わでは蒲生にあるシンコーロジス(株)からの請負作業を行っています。インドネシアから輸入されたタイヤのアルミホイールが入った段ボール箱をコンテナから下ろし、パレットに積み上げていくという作業です。コンテナの大きさは40フィート(約12m)。コンテナの中は暑く、奥の荷物を降ろすときにはライトをつけないと見えないくらい外の光が届きません。「やれない仕事ではないとは思ったけど、始める前はやっぱり不安はありましたね」と、参加メンバーのMさん。初日には作業が終わってから筋肉痛になってつらかったとか。作業は大体週1、2回。参加するメンバーで作業のローテーションを決めています。4、5名で1つチームを作り、交代で作業を行います。シンコーロジス(株)の石越さんも「やる度に手際が良くなってるね！」と太鼓判を押す仕事振りです。Mさんたちは「こうした作業が週1、2回あるのはとてもいいペースだと思います。勤めていたときは病院へ行く為に休むのも悪い感じがしていたけど、作業所では堂々と行けるし、自分の体調に合わせて活動

できるので。」と口々に言います。MさんやAさんは現在生活保護を受けており、就職をして保護の支給を打ち切った後に、もし体調を崩して仕事が出来なくなってしまったら、という不安があります。「本当は就職出来ればいいんだけど、病院のことや具合が悪くなつたときのことを考えると、もう少し自信をつけるまでは今くらいの仕事量がいいのかもしれません。」「わ・は・わに期待していることは、仕事が出来る人できない人、男性女性にかかわらずみんなが稼げる作業がしたいですね。そうじゃないと仕事に張り合いがないもの。」当たり前の事ですが、仕事をする楽しみや喜びを体感するのにお給料は大切な要素の1つです。みんなが笑顔で仕事が出来るようにみんなの輪もがんばっていきます。

(写真3) コンテナからの積み荷作業

社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

●6月26日、7月26日、8月26日にわ・は・わ宮城野において社会福祉法人みんなの輪の平成15年度第2~4回理事会が行なわれた。主な議題として、定款並びに経理規定変更の報告がなされ了承された。また、知的障害者通所更生施設わ・は・わ大郷の新設に伴う規定類の変更の報告がなされ、了承された。●わ・は・わ大郷施設長の本間氏と開設準備委員より、準備状況の報告と開所式の予定が説明された。開所式については細かい内容の確認を行ないながら、更に具体性を高めていく事となった。

●2004年5月に予定される生活協同組合仙台共同購入会新センター移転に伴い、現愛子配達センターを借り受けるとの報告がなされ了承された。

物品支援ありがとうございました

わ・は・わ大郷開設にあたり、たくさんの方々より以下の物品を寄付していただきました。

○事務机 ○食器 ○テーブル ○カーテン ○食器棚 ○テレビ ○プリンター

○スキャナー ○電子レンジ ○洗濯機 ○冷蔵庫

ありがとうございました。

みんなの輪通信 vol.16

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 16 (2004) 年 1 月 19 日

①新年おめでとうございます

社会福祉法人みんなの輪理事長 吉武洋子

新年にあたり、皆様のご多幸をお祈りいたします。

昨年も皆様のお力をいただき、社会福祉法人みんなの輪は、更にその輪を広げることができました。皆様に支えられた、知的障害者更生施設わ・は・わ大郷の開設は、誰もが安心して心豊かに暮らせる地域社会実現に大きな役割を果たすと信じています。理事並びに職員一同、利用者の皆さんとの声を大切に、地域社会に根付くよう、みんなの輪の活動を進めてまいります。

どうぞ今年も、みんなの輪をご支援下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

(写真 1)

②素敵なクリスマスプレゼント！

「エキサイティング マリンバ&パーカッション」コンサート

去る 12 月 18 日、旭ヶ丘の青年文化センターにて行われた「エキサイティング マリンバ&パーカッション」コンサートに、わ・は・わ総勢 50 名がご招待を受けました。招待してくれたのは、主催の「打の文化実行委員会」です。国際的マリンバ演奏家である安倍圭子先生の美しく力強く、幻想的でやさしい音色に心が和み、また宮城県第三女子高等学校音楽部のコーラスとマリンバ、パーカッションとのセッションは心が躍る、大変素晴らしいものでした。めったに見ることのできない、打楽器の素敵なお共演は、心に身体に響き、演奏する方の魂が伝わってくるようで、とても思い出に残る夜となりました。

③つなぐのはこころ～当事者の声～『わ・は・わってこんなところ』 第4回

今回はわ・は・わ沖野の皆さんに『わ・は・わってどんなところ？』ということで話を聞いてみました。

まず 1 番声が多かったのは、「みんなが楽しく集まる場所・憩える場所」ということ。利用者さんの多くは、将来のことや家庭のこと、多少の不安を抱えながら生活しています。毎日通う所は必要ですが、眠れない夜があったり、薬の副作用で身体がだるかったり、体調の管理も大変です。わ・は・わでは毎日の作業のプログラムはありますが、作業をしなくても他の人とおしゃべりをしたり、わ・は・わの空間を使って自分の好きなことをしたり、ということも出来ます。「忙しくなって体がついていけなくなるよりは、自分には今のペースの作業量がっていますね。」という声も上がりました。

また、一般就労するための 1 ステップとしての場所、という人もいます。わ・は・わなどの作業所では、一般企業の仕事のように追われるされることもなく、その日の体調に合わせて作業をしたり休んだり出来るので、余裕をもって仕事ができるという所が利点です。自分のペースを見ながら仕事に慣れていくための場所。皆さん上手にわ・

は・わを利用しています。

利用者の U さんは 26 年間病気と付き合っていますが、「作業所」に行く、ということに抵抗があったといいます。「障害者といわれるのはすごくいや。作業所も悪いイメージしか持てなかつた。」でも、役場の人に紹介されて来てみたら、「とても楽でした。ここに来る人たちはみんな自然。でも一生懸命。自分が片意地を張っていたのが分かった。もっと早く来ていればよかったと思いました。」とにっこりと話してくれました。

統計では 100 人に 1 人の割合で「心の病」が発症している現代社会。障害を持ちながらも、安心して暮らすことの出来る地域社会を作ること。一般就労につながるサポートをすること。わ・は・わは、ほっとしてもらえる場所でありながら、利用者の方の希望が叶うようなサポートができるように、スタッフも一緒に成長していきたいと思います。

④社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

●11月 29 日にわ・は・わ宮城野において社会福祉法人みんなの輪の平成 15 年度第 5 回理事会が行なわれた。主な議題と討議内容は以下の通り ●第 4 回理事会で決定した共同購入会愛子配達センターを借りての施設設置の準備状況を事務局から説明した。仙台市との打ち合わせの結果、国の補助に制約があることから、平成 17 年度 4 月開所予定で「小規模作業所」として設置していきたいこと、予定していたパン及びジャムの製造はわ・は・わ大郷で行いたい旨報告され、了承された ●わ・は・わ大郷の現状況と旧味明幼稚園での作業開始について論議した。大郷は定員を 20 名から 28 名にすること、準職員を正職員にすること、それに伴い作業の充実が求められており、町の補助金一千万円とみんなの輪からの資金で旧味明幼稚園を改修し、パン及びジャムの製造を行うこと、作業開始 16 年 4 月を目標にその準備を進めることができた ●11 月中旬の宮城県と仙台市の法人と各施設の監査を事務局から報告した。また経理や事務局の体制についても話し合った。

⑤物品支援のお願い

企業の方、一般家庭の方で使わずにいる物品があれば是非ご提供下さい。連絡は、わ・は・わ大郷(022-359-3563)赤間まで。ご連絡いただければ取りに伺います。

・冷蔵庫(大) ・エアーポット ・ビデオデッキ ・テレビ ・スタイル畳 ・習字道具セット ・オーブンレンジ ・タオル ・パソコン (98年以降) ・プリンター・新品布団セット ・湯たんぽ ・防炎カーテン ・布団カバー ・シーツ ・加湿器 (できればタイマー付き)

みんなの輪通信 vol.17

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 16 (2004) 年 5 月 24 日

①バリアをぶっこわせ～職員の視点から～第1回

宮城県は施設解体宣言をしました。障害を持っているひとも、入所施設ではなく当たり前に地域で暮らそう、という呼びかけです。そのためには、まだまだいろんな設備や制度が必要ですが、まずは地域の中での理解が一番大切なことだと思います。「しょうがい」というものをどう感じて、どう捉えているのか、職員が現場で感じていることをこれからリレー形式で伝えていきたいと思います。

皆さんはお子さんにどう伝えますか？

以前、働いていた施設で、利用者の方と公園に行った時の出来事です。公園には数人の子供と親がいました。話掛けてくれる人・私達の方をじっと見る人・気にせずに過ごしている人と様々です。(公園で会う事の多い大人の方や、子供達は気軽に話し掛けてくれる事が多かったです) しばらく経った後、利用者の1人が大声を出しました。その途端、周囲の状況が変わったのです。周囲の視線は大声を出している利用者に向けられました。心配して、来てくれた人もいましたが、中には子供の手を取り、公園から出て行く人もいました。手を引かれたその子供は、何度もこちらを振り返っていました。その子はまだ遊びたかった事でしょう。「帰るよ」と強く言いながら子供の手を引く母親の姿を見て、とても心が痛みました。おそらく、その子供は家に帰ってからお母さんに尋ねたでしょう。「どうして、あの人は大きな声を出していたの？」と。お母さんは何と答えたのでしょうか？支援員の私達でも、子供に聞かれた時に、子供に解り易く伝えられているのか？と感じる事があります。大人の答えかたによって、子供が、相手を見る際の視点も変わる事もあると思います。反面、子供は素直で純な所を沢山持っているので、自然に接する子供達にも出会った事もありました。施設と隣接されている保育園の子供達は、大声を出す人や、よだれを流している人にも、毎日自然に接してくれました。「見て見て！雪ダルマだよ。おばちゃん達も一緒に作ろうよ。」と声を掛けてくれたり、「よだれ出てるよ。拭いてあげようか？」等と常に自然体でした。これが、何一つ隔たりのないことで、当然の生活であると感じた時でした。同時に改めて、言葉だけの説明よりも、関わることによって感じ得る事の方が多いという事も、子供達に教えてもらいました。そして、関わる事の大切さを…。私達も、今以上に、地域の皆さんと会う機会を大切にしていきたいと思っておりますので、皆さんも、接する前から偏見の目で見ず、まずは関わってみましょう。もしかしたら、新たな一面が見られるかもしれません。＊皆さんからのご意見お待ちしております。小さな事でも構いませんので、気軽にお寄せ頂ければ幸いです。(あ・は・わ大郷支援員 赤間 環)

②始まります 利用契約制度

支援費の導入に伴い、知的障害者施設では知られてきている利用契約制度。施設と利用者が契約を結び、施設主体ではなく対等な関係を築くことで、利用者が自分にあった施設を選ぶことが出来るというものです。

今年度より、精神障害者施設でも施設と利用者で利用契約を結び、よりしっかりとした支援環境を作っていくこ

となりました。仙台市にある若林・宮城野・沖野の、各わ・は・わでは、改めて利用者一人一人と向き合い、わ・は・わと利用者との約束事の確認や、これからどう利用していくのか、という話し合いを始めています。わ・は・わと利用者の信頼できる関係作り。これからどんどん進んでいきます！

③ちょっとコラム～障害？障碍？障がい？

日頃何気なく使っている「しょうがい」という言葉。その意味は「社会との間にある壁=障害」をさします。その「障害を抱える人」が「障害者」であるわけですが、最近は字のイメージが悪いといわれて、「がい」の字の表現を変える動きがある事をご存知でしょうか？

一般的に使われているのは「障害」ですが、「障碍」という字に変えたり、「障がい」とひらがなで書く場合もあります。皆さん「障害」が一番なじみのある書き方ですよね。「ガイ」の字は、それぞれが違う意味を持っています。

「害」は「そこなう・きずつける・さまたげる」などの意味を持ち、「碍」は「さまたげになるもの」という意味があります。字自体に意味を持たないのが「がい」ですね。でも、「害」と「碍」の意味、どちらも同じように感じませんか？この2つの何が違うのかというと、「害」は「それ自身がさまたげ」なのに対して、「碍」は「そのものと他のものとの間にあるさまたげ」という意味になっているのです。

みんなの輪の職員間でこの話題を出した時には、ひとつの文字を特別視するのではなく、「しょうがい」というもののそのものをどのように正しく理解してもらうか、ということを考えなければいけないのではないかという意見も出されました。「ガイ」という言葉ひとつを取り上げてしまえば字によって意味が違ってきますが、「しょうがい」という言葉になればどの字でも同じ意味になります。しかし、文字の与える印象というものもあるのではないかと思うのです。みなさんはこれを読んでどう思われましたか？ご意見お待ちしています。

④社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

●3月27日にわ・は・わ宮城野において社会福祉法人みんなの輪の平成15年度第6回理事会が行なわれた。主な議題と討議内容は以下の通り●各施設より2004年度の事業計画の説明があり、全員異議なく承認された。また事務局長の諸橋より、2005年に開所予定のわ・は・わ愛子（仮称）の事業計画の説明がなされ、みんなの輪として今後、より具体的な動きをしていくことが確認され、全員異議なく承認された。●事務局長より2004年度の予算案の説明があり、全員異議なく承認された。●わ・は・わ大郷の旧味明幼稚園舎使用計画にあったパン及びジャムの製造に関しては、わ・は・わ沖野が現在行っているパン製造・販売の見直しを含め、みんなの輪全体として関連性を持って事業をすすめていく必要があることが確認された。●理事兼事務局長の諸橋より、精勤手当の廃止に伴う給与表案について説明がなされ、全員異議なく承認された。

⑤物品支援のお願い

企業の方、一般家庭の方で使わずにいる物品があれば是非ご提供下さい。連絡は、わ・は・わ大郷（022-359-3563）赤間まで。ご連絡いただければ取りに伺います。

・冷蔵庫（大）・CDラジカセ・キャビネット・食器棚・ビデオデッキ・テレビ・習字道具セット・
オーブンレンジ・タオル・パソコン（98年以降）・プリンター・新品布団セット・防炎カーテン・
布団カバー・シーツ・未使用のタオル・加湿器（できればタイマー付き）

⑥わ・は・わ行きカード～ご意見をお寄せください～ ご住所・お名前・電話番号

みんなの輪通信 vol.18

わ・は・わがホームページを開設しました。http://www15.ocn.ne.jp/~wa-ha-wa/

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 16 (2004) 年 10 月 18 日

①わ・は・わ大郷味明分場がオープンしました！

10月3日の日曜日、当日は秋雨がしとしと振る日和となっていましたが、大郷町長を始め、たくさんのご来賓の列席を賜り、また笑顔で張り切る第1期生のメンバーさん12人が揃い、賑やかに開所式が開かれました。また、午後にはわ・は・わ大郷（粕川）では1周年記念のお祭りが開かれ、地域の方々、ご家族の方々みんなが集い、楽しいひとときとなりました。味明分場で獲れたさつまいもを大鍋で蒸かし、みんなに振舞われました。新しいわ・は・わ、そこに集う仲間たち。みんなの喜ぶ顔は何者にも勝るパワーです。開所にあたりお世話をなった関係機関、その他ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。わ・は・わはますます頑張ります！

コメント

10月3日、開所式が行われ、10月4日よりわ・は・わ大郷味明分場がスタートしました。現在は、無農薬・有機質栽培の農園作業を中心とし、導線の皮むき作業と空き缶の回収、分別つぶし方の作業を行っています。いずれは、この分場にパン工場とジャム工場を立ち上げ授産施設としての独立を次なる目標としています。大郷の地域社会に解けこみ、皆に愛される施設になるよう、利用者さんとともにスタッフ一同、頑張って行きたいと思います。味明分場 スタッフ只野賢司

*写真①Cap.わ・は・わ大郷味明分場

*写真②Cap.開所式が終わって楽しい昼食会

②バリアをぶっこわせ～職員の視点から～第2回

わ・は・わ宮城野が現在の場所（宮城野区燕沢）に引っ越してきてから、2年が経ちました。

当初の近所の方々の反応は、どんな所なのか、どういう人たちがいるのか距離を置いて見ているという感じでした。わ・は・わのメンバーさんたちも、すんで地域の人との関わりをもとうとはあまりしていなかったように感じます。

そこで、スタッフが率先して近所の方に会った時挨拶をするようにしてみると、少しずつですがメンバーの方の中にも挨拶をすることが浸透てきて、交流の場が広がっていきました。畠で収穫した野菜を自宅まで届けてもらうよう頼まれたり、授産品の説明を聞きに近所の方が尋ねてきてくれたりする機会も増えていきました。

先日、すぐ近くにあるお店の方がいらして「この北島選手のポスター、すごく欲しがっていたからね。」と、はんぱなくばかりのポスターを1人のメンバーさんに届けてくれる事がありました。その方は数人のメンバーの名前も覚えており、買い物に行くと何らかの言葉をかけてくれているようでした。また、地区の運動会にメンバーとスタッフが参加した時には、後日、地区の運動部長さんが「参加してくれてありがとう。」とお礼を言いにいらしてくれました。

地域の方との関わりは障害への理解を深めてもらえる近道だと思います。もっと関わりを深めていきたい、とい

う思いは私たちの中で強くあります。歩み寄ってもらうためには自ら歩み寄る事も必要ではないでしょうか。挨拶をすること、地域の行事に参加すること。日常の小さな歩み寄りが大きな成果を生む事もあるかもしれません。たくさんの人々にわ・は・わを知って欲しい。そして当事者の方と関わって欲しい。そのために施設が開けた場所であることも大切だと思います。まだまだちいさな歩み寄りですが、私たちが発しているサインを感じとっていただければと思います。そして、そこから1歩踏み込んでみてください。(わ・は・わ宮城野スタッフ 長谷部幸子)

③ちょっとコラム～ご意見いただきました

前回 Vol. 17 のみんなの輪通信に「しょうがい」という言葉の書き方についてのお話を載せたところ、読んでくださった青葉区にお住まいの A.E さんより、こんなご意見をいただきました。

「私は文字を変えない方がよいと思います。将来は考へてもよいかもしれません、今の時期、特に平がなにするのはよくないと。字の意味を失くすことで障害を持つことがどういうことか、わかりにくくなると思ったからです。違いを自然に受け止め、不便やたいへんな部分に何を補えば暮らしやすく、生きやすくなるか、気が付く人間が増えていく方がいいと思うのです。」

A.E さん、貴重なご意見ありがとうございました。このご意見を受け、もしかしたら「しょうがい」の表現の仕方にこだわってしまうのは、障害というものがこれまで人々の理解を得ることができずにつらい思いをしてきた歴史を知っているからなのかもしれないと思いました。そう意識しているうちは「違いを自然に受け止める」ことができていないんだなあ、と考えさせられました。そしてそれができる人を増やすには、障害というものがどのように見られてきたか、それを知っている私たちがきちんと伝えていくのが一番確実なんだろうと思います。はたしてどれだけの人が「障害者」についての質問をされて、正しく答えられているでしょうか？今回「ガイ」という字について取り上げたことで、より障害に対して知りたい、関わりたいという人が少しでも増えれば、たくさん的人々が今までよりもっと暮らしやすくなるのではないかと思うのです。

*引き続きご意見お待ちしています。

④社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

●7月31日、9月25日にわ・は・わ宮城野にて社会福祉法人みんなの輪の平成16年度第3回、第4回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り●あいコープみやぎの旧愛子センターを借り受けて小規模作業所を立ち上げるにあたり、名称を「わ・は・わ青葉」とすることが提案され、承認された。●精神障害者小規模作業所わ・は・わ青葉の事業計画について、事務局長の諸橋から現段階の準備状況と、作業として廃食油を利用した石鹼作りを計画していることが報告され、全員一致で可決された。●諸橋より、経理規定の改定についての報告がなされ可決された。●わ・は・わ大郷施設長の本間、わ・は・わ宮城野施設長の仲野谷より、社会福祉法人に対する宮城県の監査についての報告がなされ、了承された。●日本財団に申請中の車両購入について、資金の手当てを後援会その他に協力をお願いしていくことが承認された。●その他協議事項として理事長より就業規則の改定について説明がなされた。

⑤物品支援のお願い

企業の方、一般家庭の方で使わずにいる物品があれば是非ご提供下さい。連絡は、わ・は・わ宮城野（022-388-4188）長谷部まで。ご連絡いただければ取りに伺います。

- ・未使用のタオル
- ・CD ラジカセ

みんなの輪通信 vol.19

わ・は・わがホームページを開設しました。http://www15.ocn.ne.jp/~wa-ha-wa/

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 17 (2005) 年 3 月 7 日

①小規模作業所 わ・は・わ広瀬 4月開所！

利用者募集中です！

どんな作業を？

リサイクル石けん作り

みんなの輪の後援会のあいコープみやぎやその生産者の皆さんのご協力を得て、油揚げや揚げ蒲鉾を使った食用油を回収し、石けんにする仕事です。できた石けんはあいコープみやぎの組合員の方や一般消費者の方、バザー やイベントで販売していきます。廃食油の回収から始まって、石けんプラントで石けんを作って、袋詰めして製品化し、販売していく仕事です。また、他に簡単な織り機やミシンを使ったりして、ゆっくりペースで手仕事中心の作業も用意していきます。

小規模作業所 わ・は・わ広瀬

989-3126 青葉区落合二丁目 2 番 4 1 号

(問合せ先)

わ・は・わ 電話&FAX 283-1408 諸橋

あいコープみやぎ ジョイケア事務局

0120-255044 遠藤

②わ・は・わ大郷味明分場では竹炭製品作りに取り組んでいます！

味明分場では、今新たに竹炭の加工に取り組んでいます。運び込まれた原竹炭を切ったり砕いたりする際、粉塵が出ないよう水分を竹炭に含ませるために水槽で一昼夜水漬けします。水漬けした原竹炭を形の整っているものは一本一本、一節ごとに壊れないように、のこぎりでカットし、煮沸します。同じような太さ、長さ、等に分別しております。また、折れたり砕けた竹炭は煮沸後に飼料袋などに入れ粉碎し、網目をとおし 1~2cm 位の大きさにし、さらに計量し紙カップに定量を入れます。この一連の、水漬け、カット、煮沸、粉碎、分別、計量作業をみんなでポジションごとに分担して、一生懸命行っています。尚、布袋作りと竹炭の袋詰めは柏川本場で作業しています。これらの竹炭は、靴やお部屋の消臭剤として製品化しています。竹炭加工の他には、農園作業、箸入れ作業、缶つぶし作業などを行っています。皆さん是非遊びにいらしてください！！

*写真①Cap.わ・は・わ大郷味明分場にて竹炭の選別作業

③バリアをぶっこわせ～職員の視点から～第3回

私がわ・は・わのスタッフとなってから、もうすぐ1年が経ちます。作業所の仕事って何するの？と思う人も多いでしょう。いつもは利用者さんとの関わりが仕事ですが、もうひとつに地域との関わりも大切な仕事だと感じています。

今の季節は休んでいますが、わ・は・わでは七郷に畠を借りて、無農薬栽培で野菜を作っています。毎年、どんな野菜が売れるか、作りやすいか皆でよく話し合い作っています。そして、畠でできた野菜をひき売り等で売っているのですが、なかなか好評で以前買ってくれた方が声をかけてくれることも多々あります。また、作業所の前での無人販売も、すぐに売切れてしまいます。「この間、大根を買ったんだけどとてもおいしかったわよ。また買うからよろしくね。」と声をかけてくれる方もいて、利用者さんもとても喜んでいました。地域と少しずつでも接していくことは、しょうがいの理解につながる第一歩だし、社会参加にもつながっていくのではないかと思います。

世の中には、知らない、聞いたことが無い病気なんて山ほどあります。精神病の中にも人それぞれ様々な症状があります。実際に触れ合い接することは理解につながるし、偏見というのも次第に薄れていくのではないかでしょうか。そのためにも、これからも地域に積極的に働きかけ、地域に少しでも溶け込んでいけるように頑張っていきたいと思います。（わ・は・わスタッフ 渡邊 仁）

④わ・は・わ近況報告の巻（先輩わ・は・わ3ヵ所より）

●わ・は・わ（若林）

主な活動は、あいコープの野菜小分け作業・畠作業（無農薬野菜作り）・乾燥糸こんにゃくの袋詰め、販売・手芸品作り・みんなで食べるお昼の食事作り等を行っています。そのほかにも、活動内容を決めるミーティングや、年4回の「わ・は・わニュース」の発行、レクリエーションではお誕生日会や年に1度の一泊旅行なども行っています。イベントやバザーなどの行事にも積極的に参加して、元気で明るいわ・は・わをたくさんの人たちに知ってもらえるようにがんばっています！今冬のお勧め商品は、どんな作業にも便利なアームカバー、しっかり眠れる？安眠枕カバー、ちょっと大きめエプロンです。とてもよい商品ばかりなので、ぜひお試しあれ♪

●わ・は・わ宮城野

わ・は・わ宮城野では、うこっけいのひなが6羽誕生し、順調に育っています。卵は週5～6個収穫できているので、ご注文も受け付けております。また、手芸品では、新しいデザインのコースター作りや染物に力を入れています。染物は近々ブルーベリー染めに挑戦する予定です。そのほかローズマリーを干して香り袋も製作中!!疲れぬ夜の枕元においておけば、リラックス効果で快眠できるかもしれませんよ♪これらの商品が気になる方は、ぜひご連絡ください!!

●わ・は・わ沖野

平成17年度4月から、わ・は・わ沖野の活動が大きく変わります。今年度いっぱいパン作りの作業を終了し、また新たな活動をしていく予定になっています。それに伴って、これまで日～木だった開所日が、月～金へと変わります。まだまだ職員・利用者ともに新しい活動をしていくために頭をつき合わせているところです。これからどんなことが始められるのか、どきどき・わくわくしながら春が来るのを待っています。

⑤社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

● 12月11日にわ・は・わ宮城野にて社会福祉法人みんなの輪の平成16年度第5回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り ●事務局より、県ならびに市の監査により指摘のあった就業規則、経理規程、定款施行細則について一部改正案が示され、全員一致で可決された。 ●あいコープみやぎの旧愛子センターを使用しての精神障害者小規模作業所の名称を「わ・は・わ広瀬」とすることが全員一致で可決された。また諸橋より、わ・は・わ広瀬の事業計画について説明がなされ、平成17年4月開所に向け、次回理事会にて定款変更に関する議決を行うことが確認された。 ●11月25、26日に行われた授産施設に対する仙台市の監査について、わ・は・わ、わ・は・わ宮城野、わ・は・わ沖野に関する指摘事項の報告が各施設長よりなされ、了承された。 ●本部ならびに各わ・は・わの今年度前半期の会計報告が各施設長よりなされ、了承された。

⑥物品支援のお願い

わ・は・わ広瀬開所に伴い、様々な物品が不足しております。企業の方、一般家庭の方で使わずにいる物品があれば是非ご提供下さい。連絡は、わ・は・わ宮城野（022-388-4188）長谷部まで。ご連絡いただければ取りに伺います。どうぞよろしくお願い致します。

・冷蔵庫 ・洗濯機 ・テレビ ・炊飯器 ・ダイニングテーブルセット ・コタツ
・布団 ・ソファーセット ・ロッカー ・スチール棚 ・長机 ・電子レンジ ・未使用のタオル ・CD
ラジカセ

みんなの輪通信 vol.20

わ・は・わがホームページを開設しました。http://www15.ocn.ne.jp/~wa-ha-wa/

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 17 (2005) 年 7 月 11 日

①やった！出来たよ～わ・は・わの仲間が作りました。

大郷（味明分場）のパン

広瀬のリサイクル石けん

大郷町の味明分場ではパン工房が、わ・は・わ広瀬では石けん工場が稼動を始めました。

それぞれが試行錯誤を繰り返しながら、一生懸命作っております。どうぞ一度手にとって試してみてください。

(別途添付ファイル) 表を挿入

*写真①Cap.わ・は・わ大郷味明分場にてパンを持ってニッコリ

*写真②Cap.わ・は・わ広瀬にてせっけんの製造作業

②バリアをぶっこわせ～職員の視点から～第4回

私は1年間わ・は・わ大郷で勤務した後、この5月から沖野に異動してきました。わ・は・わ大郷は大郷町で初めてできた障害者の施設でしたが、地元の方は暖かく迎えてくれたと思います。レクリエーションの時には一緒にダンスをしてくれる方もいましたし、料理を教えてくれる方もいました。一周年のおまつりの時にはたくさんの方が来てくれました。障害を持つ人が地域で暮らすには、地域の方と知り合うことが力になります。地域に住むたくさんの方と出会いたいという願いはどの施設も持っているものだと思います。私が来た頃の沖野はパンの作業を止め、1階のパン工房を共有スペースへと変える準備をしている時でした。今では掃除も終わり、一日ゆっくり過ごせる場所に変わっています。1階が開いて立ち寄りやすくなったのか、何かのついでにひょこっと顔を見せてくれる利用者さんもいて、沖野を利用してくれる人の数が少し増えてきたようです。新しい活動に入った沖野ですが、地域の方にはまだまだ知られていないかもしれません。「あの建物使ってるなんて知らなかつた」という方もいると思います。今度は地域の方も気軽に立ち寄れるよう、「ちょっと行ってみようかな」と思えるような、そんな場所を目指していきたいと思います。 わ・は・わ沖野 成田 岳

③皆勤賞です！とっておきの音楽祭

皆さんはとっておきの音楽祭をご存知ですか？音楽のチカラで、心のバリアを打ち壊そう！という趣旨のもと、仙台の街中を舞台に175組のバンドや団体がパフォーマンスを披露するとても大きなイベントです。今年で第5回を迎えるこのイベントに、皆勤賞を狙うわ・は・わオールスターズと今回初出場となるわ・は・わ大郷のダンスグループとんがりぼうしが出演し、会場を大いに沸かせっていました。

とんがりぼうしは総勢30名でおそろいのピンクのバンダナを巻き、「きよしのズンドコ節」など3曲を踊りました。ニコニコと楽しそうに踊っている姿に、観客もおもわず手拍子。初めてのステージとは思えない堂々と

した踊りを披露しました。

そしてわ・は・わオールスターズも「上を向いて歩こう」やオリジナル曲などを熱唱。あつという間に演奏時間の30分は過ぎていきました。

最近はイベントへの出演依頼も来るようになり、認知度も高くなったわ・は・わオールスターズ。新しい仲間、とんがりぼうしとのコラボレーションも今後実現するかも！？お楽しみに！

*写真③Cap.熱唱！わ・は・わオールスターズ

④社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

●5月21日にわ・は・わ宮城野にて社会福祉法人みんなの輪の平成17年度第1回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り●各施設より平成16年度の事業活動報告がなされ、全員異議なく承認、可決された。

●各施設より平成16年度の決算報告がなされ、全員異議なく承認、可決された。●大宮司寛理事より法人本部の事務職員の雇用のため、各施設の管理業務改善プロジェクトの提案がなされた。これについて全員異議なく、満場一致で承認された。

⑤物品支援いつもありがとうございます！

皆様よりいただいた、全自動洗濯機、冷蔵庫、カーテン、クリヤーケースその他食器などなど、各施設やグループホームでも大活躍しています。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

みんなの輪通信 vol.21

わ・は・わがホームページを開設しました。http://www15.ocn.ne.jp/~wa-ha-wa/

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 17 (2005) 年 10 月 31 日

①お試しあれ！大郷の新商品！ 行ってきたよ！一泊旅行！

既にあいこープの「まんま通信」で掲載されており、御存知の方も多いと思いま
すが、改めて味明分場の3種類のパンについて紹介致します。

生地に地元大郷町特産の栄養豊富なモロヘイヤ

パウダーを使用した「モロヘイヤパン」

甘さ控えめなアンコとバターを挟んだ「モロヘイヤコッペ」

そしてトマトソースを練りこんだ「トマトフランス」です。

どれも「おいしい」「野菜嫌いな子どもも喜んで食べる」など大好評です。

粕川のほうでは9月末に蔵王まで初の一泊旅行に行ってきました。

「こけし館」では、指が塗料でベタベタになりながらも、こけしの絵付け体験を楽しみました。

ミルクファームではヤギや牛などの動物を見た後、牛乳やソフトクリームを

ご馳走になりました。初の一泊旅行ということでスタッフもメンバーさんもドキドキでしたが、
楽しく過ごすことが出来てなによりでした。

②広瀬が作業所から授産施設へ！！

わ・は・わ広瀬は青葉区落合の静かで落ち着いた住宅街に今年4月に小規模作業所として開所し、リサイクル石けん作りを中心に活動を続けてきました。そして10月からは小規模通所授産施設として新たにスタートしています。同じく10月にあいこープみやぎでの「さいかち」石けん販売が始まり、利用者、職員ともに忙しい日々を送っています。今後は利用者が高い工賃を得ることができ、就労につながる支援・利用者が楽しんで活動できる施設を目指して行きたいと考えています。「さいかち」石けん、わ・は・わ広瀬の活動、ともにご支援いただけますよう、よろしくお願ひいたします。

わ・は・わ広瀬 施設長 竹村 恵美

*写真①Cap.味明分場の新商品「モロヘイヤパン」「モロヘイヤコッペ」「トマトフランス」

*写真②Cap.自然に囲まれて建つわ・は・わ広瀬

③みんなが燃えた！仙精連大運動会！！

9月30日の金曜日、仙台市青葉体育館で第4回仙精連大運動会が行われました。この運動会は、市内の授産施設や作業所、支援センターの利用者、また今回は一般の方の参加も募集しての一大イベントでした。競技内容は、運動会名物の玉入れや綱引き、チーム対抗リレーに加えてボール送りや尻圧測定、パン食い競争、キャタピラ競争がありました。その中でも特に毎年盛り上がる綱引きです。優勝は、わ・は・わ沖野、広瀬の合同チーム

で、2位には向日葵ファミリーチームが入り、3位は、わ・は・わ（若林）でした。なにより盛り上がったのは、わ・は・わ同士の準決勝戦です。どちらのチームも大声援を受けて頑張っていました。スタッフとしては、どちらを応援したらよいか迷いました。来年は、さらに体力をつけ、力をあわせて頑張りたいと思います。加えて、当日は運動会のほかに体力測定のブースも設けられ、握力や前屈などが測定でき、大人気で行列が出来るほどでした。市政だよりでの事前のお知らせもしておりますので、ぜひ来年は皆さんも遊びにいらしてください。

④バリアをぶっこわせ 第5回～職員の視点から～

⑤社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

●9月10日にわ・は・わ宮城野にて社会福祉法人みんなの輪の平成17年度第2回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り ●精神障害者小規模通所授産施設わ・は・わ広瀬の設置とそれに伴う定款の変更が提案され、承認可決された。 ●事務局より経理規定にわ・は・わ広瀬を追加したこと、県監査の指導を受けて会計単位及び経理区分の変更の提案があり、承認可決された。 ●10月1日よりわ・は・わ広瀬が精神障害者小規模通所授産施設になるにあたり、吉武理事長より現わ・は・わ沖野職員の竹村恵美を施設長に任命したいとの提案があり可決された。 ●大宮司寛理事より提案されていた各施設の管理業務改善プロジェクトの報告がなされた。これによって現時点での人員補充は見送り、今後職員側から要請があった場合に再度検討することを確認し、全員異議なく承認された。 ●9月8～9日に県による、みんなの輪本部とわ・は・わ大郷に対する監査があり、本間理事より報告された。

⑥ご意見カード

みんなの輪通信 vol.22

わ・は・わがホームページを開設しました。http://www15.ocn.ne.jp/~wa-ha-wa/

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 18 (2006) 年 2 月 3 日

①新年のご挨拶

皆様、新年おめでとうございます。良い年をお迎えのことと存じます。旧年中は物心両面から、みんなの輪をご支援いただき感謝でいっぱいです。さて、「冬来たりなば春遠からじ」とは言うものの、この寒さと雪はいったいいつまで続くのかと思います。過疎高齢化地域ではさぞ大変だろうと、大雪のニュースが流れる度に胸が痛みます。ボランティアの活動は救いですが、地域社会で助け合い支え合いして暮らしていくことの大切さ困難さを改めて考えさせられました。

私は常々、社会福祉は何も難しいことではなく、身近な人々がお互いに助け合い補い合って、老若男女障害疾病の有無も関係なく、誰もが住みよい地域社会にしていくことだと言っていました。社会福祉法人みんなの輪も、そんな思いから生まれ育ってきました。人と人との助け合い支え合う、そして人も大きな自然の一部として生きる、人と人の輪、人と自然との和「わ・は・わ」にはそんな意味が込められています。

同じ地域に暮らす人々が身近で気軽に助け合い支え合っていくこと、それが社会福祉であり、人の自然な営みです。「勝ち組」も「負け組」も、弱肉強食もなく、被害者にも加害者にもならない、奪わざ奪われない社会の実現を目指し、社会福祉法人みんなの輪は、本年もしっかりと歩んでまいります。昨年同様、どうぞ今年も社会福祉法人みんなの輪を宜しくお願い申し上げます。

末尾ながら、この一年の皆様のご多幸をお祈りいたします。

社会福祉法人みんなの輪 理事長 吉武 洋子

*写真①

②近日稼働します！味明のジャム！

当施設にてパン事業を立ち上げ早1年が経とうとし、ようやくパン事業も軌道に乗ってまいりました。当施設では次にジャムの事業を立ち上げようとしている所であり、昨年末にジャム工場が完成いたしました。新年が始まり、これから機械の試運転を重ね、近日中に皆様の食卓においしい苺ジャムをお届けできることと思います。ジャムもパン同様、皆様に安心してお召し上がり頂けるよう、品質管理を徹底し原材料にこだわりを持った、安全でおいしいジャムを作っていくたいと思っております。当面は苺ジャムのみの提供を予定しておりますが、その後にはリンゴジャムやブルーベリージャムなど種類を増やしていくことも検討中です。今後もわ・は・わ大郷味明分場の活躍にご期待ください！

わ・は・わ大郷味明分場スタッフ 只野 賢司

*写真②Cap.ジャム作りに使用する機械

③バリアをぶっこわせ 第6回 ~職員の視点から~

私は以前、知的障害者施設に約2年半勤めておりましたが、昨年8月からわ・は・わ広瀬へ勤めることになりました。当初は障害の種類の違い等により若干の不安がありましたが、実際に利用者さんと共に働き始めると皆さんに気を遣って頂く事や、作業について教えて頂く事が多く、助けてもらうばかりでした。現在は皆さんの悩み事に対して相談に乗り解決策を考える等、少しは皆さんの力になれているかなと思っています。

1月で半年が経過し、今一番実感している事は、皆さんと関わる上では障害の種類や有無は一切関係無く、お互に尊敬し合う事で人間関係が築かれ、それが広義の支援に結び付くという事です。これからは今まで以上に利用者の皆さんや地域の皆さんと一体になって活動し、多くの事を共に感じる事が必要だと思います。それぞれを尊重し良い関係を築き、バリアという言葉さえ出ないような環境が理想であり、自然なのではないでしょうか。

わ・は・わ広瀬スタッフ 伊藤 公善

④各施設近況報告 わ・は・わ(若林)編

最近のわ・は・わ(若林)は、いつもにぎやかなのには変わりありませんが、新しく木工作業が取り入れられています。木工作業では、けやきを使ったペン立てやとても個性的なキーホルダーなどを製作中です。興味を持った方はぜひ一度見学に来てみて下さい。

⑤社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

●11月5日に、わ・は・わ宮城野にて社会福祉法人みんなの輪の平成17年度第3回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り ●知的障害者更生施設(通所)わ・は・わ大郷味明分場のジャム工房立ち上げに伴う改修工事の承認、並びに入札等手順について、指名競争入札が提案され、承認可決された。 ●社会福祉法人みんなの輪知的障害者更生施設(通所)わ・は・わ大郷運営規定の、施設に勤務する職員数の変更についての提案がなされ、承認可決された。 ●事務局より、新しい監事として㈱OEA代表取締役社長千田衛氏を選出し、承認可決された。 ●12月17日に平成17年度第4回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り ●本間碩直理事より、わ・は・わ大郷味明分場のジャム工房改修工事入札結果について、立会い者のもと見積もり入札をし、最低見積価格2,700,000円を提示した㈱上町工務店に決定したことが報告された。 ●味明分場のジャム工場の立ち上げに伴う厨房設備並びに設備工事関係の固定資産取得についての提案があり、承認可決された。 ●味明分場パン工房追加厨房設備並びに設備工事関係固定資産取得についての提案があり、承認可決された。 ●平成18年2月に役員改選の時期を迎えるため、次回評議員会並び理事会にて改選することとした。 ●11月末現在の事業活動・資金収支について、報告がなされた。 ●12月13.14日に行われた仙台市による施設監査の結果について報告された。

みんなの輪通信 vol.23

わ・は・わがホームページを開設しました。http://www15.ocn.ne.jp/~wa-ha-wa/

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 18 (2006) 年 4 月 3 日

①わ・は・わ大郷味明分場 パン工房特集

次々と新作パンを生み出しているわ・は・わ大郷味明分場。毎日たくさんの方の利用者さんと関わりながらパン作りに励んでいる職員に、日々どんなことを思って作業に取り組んでいるか聞いてみました。

私は、勤めていたパン屋を退職し、わ・は・わ大郷味明分場に勤務することになってからほぼ毎日、施設内でパン作りの作業を担当する日々を送っております。

朝早めに出勤してパン生地の仕込みをしたり、朝焼きのパンを焼いたりしていると、せわしなく時間が過ぎていきます。そうこうしているうちにあつという間に 10 時になり、利用者さんの賑やかな声が更衣室の方からしてくると、ああ今日も 1 日が始まるな、と穏やかな気持ちになります。

パンを作りて売る、その結果だけを求められていたパン屋時代。

今はパンを作る過程や売る過程の中で、多くの利用者さんにどれだけ仕事を通して自立してもらうことができるか。そういった責任の中にやりがいを感じられます。

毎日せわしないパン作りの中ではありますが、利用者さんとの関わりを一つ一つパンと同様に大切にしながら作業に取り組んでいこうと思っています。

わ・は・わ大郷味明分場スタッフ 櫻田 真悦

*写真①Cap. 生地作りの様子

*写真②Cap. 丸めて発酵させます

*写真③Cap. 美味しそうに焼きあがりました

②各施設近況報告 わ・は・わ沖野編

わはわ沖野では、第二金曜日にロングミーティングの日を設けました。おもに、今後の予定や運営の仕方などが話し合われています。また最近では、新しい授産品としてオリジナルキャラクター‘ねこあざらし’のコースター作りを始めました。他にも鍋敷きや籐細工にも挑戦中です。フリースペースの時間には、熱のこもったマージャン大会やオセロ選手権が行われ、いつでも真剣勝負の戦いが繰り広げられています。興味をもった方はぜひ一度見学に来てみて下さい。

③ご協力お願いします！！

物品支援のお願いです。企業の方、またはご家庭の方で使わずにいる以下の物品があれば、是非ご提供ください。連絡は、わ・は・わ沖野 (022-294-6250) 安部 (あんべ) までお願ひいたします。ご連絡をいただければ取りに伺います。

- ・CD ラジカセ
- ・じゅうたん
- ・未使用のタオル
- ・ソフトボール
- ・布類
- ・糸
- ・掃除機
- ・お盆
- ・食器類

④バリアをぶっこわせ 第7回 ~職員の視点から~

私は以前、路線バスの運転士として約三年半勤めていました。ご縁があってわ・は・わ大郷の職員として働き始めて早いもので一年が経とうとしています。初めて飛び込んだ福祉の現場に、戸惑い悩むことが多い日々でした。しかし、利用者さんやスタッフの皆さんに助けられ、教えていただきながらなんとか今日までやってこれたのだと、感謝の気持ちでいっぱいです。

私が戸惑った変化は、第一に運転の「相手」が、運行表に従って不特定多数のお客さんを乗せたり降ろしたりしていた大きなバスから、利用者さんを送迎する 29 人乗りの小さなバスに変わったことです。そして第二に仕事の内容が対人援助という、とても奥が深く責任の重いものに変わったことでした。特に最初の頃は、障害を持った方たちとどのように関わっていけば良いのかが不安で悩みました。

しかし、ふとしたきっかけで利用者さんとの関わりが、それまでより自然なものになり気持ちが軽くなりました。それは「笑い」でした。私がものまねをした時に、利用者さんたちが声をあげて笑い和やかな雰囲気となつたのです。子どもからお年寄りまで人類共通のコミュニケーションとして、笑いの持つ力は偉大です。利用者さんと一緒に笑いながら、私は喜びを感じました。

送迎の車内での利用者さんの表情は様々で、その日のコンディションによって違います。その様子から体調や気持ちを察知すると同時に、少しでも利用者さんが楽しみ、わ・は・わで過ごした時間に満足して帰っていくように努力することが大切だと感じています。冗談を言い合ったり、ものまねをして楽しんだりできるのも、時間を共にした信頼関係が築けてこそだからです。

生活の中で、障害や個性の違いを越えて共に生き、支えあい、喜びや悲しみを分かち合いながら、一人一人が尊重されるということが一番たいせつなのではないか、と思うようになりました。「みんなの輪」が広がりつながって共生の社会が実現する日を目指して、今日も利用者さんたちの笑顔と笑いを引き出すべく、バスを運転しながら面白い話を考えています。

わ・は・わ大郷（柏川）スタッフ 濱中 隆仁

⑤社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

●2月18日に、わ・は・わ宮城野にて社会福祉法人みんなの輪の平成17年度第5回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り。●社会福祉法人みんなの輪 第3期評議員の同意・承認について、評議員への理事長よりの委嘱に当たっての同意が必要との提案があり、全員異議無く承認、可決された。理事長および職務代理者の選出も行われ、満場一致で吉武洋子理事が理事長に、只野茂博理事が職務代理者に選出された。●各施設の2006年度事業計画、予算案について審議が執り行われ、各施設長より報告がなされた後、全員異議無く承認された。●平成17年度補正予算案について、統括会計責任者より報告をし、全員異議無く承認された。●育児・介護休業規程に関する法律が一部改正になったことを受けての規程類の改定、並びに作成中の諸規定案について、次回理事会にて討議、承認するということが話し合われ、了承された

みんなの輪通信 vol.24

わ・は・わがホームページを開設しました。http://www15.ocn.ne.jp/~wa-ha-wa/

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 18 (2006) 年 7 月 10 日

①わ・は・わ大郷味明分場 ジャム供給が始まりました！

6月より、皆様のもとに、商品名「小牛田の苺でつくったわ・は・わのジャム」としてあいコープみやぎへの出荷が始まり、200gを478円（税込）にて販売を開始いたしました。

「わ・は・わのジャム」は、小牛田の苺農家の佐々木さんと内藤さんが農薬を削減するために様々な工夫を施し、徹底した栽培管理により安心してお召し上がりいただける、こだわりの苺を使用しております。

そのこだわりの苺を贅沢に使用し、添加物を一切使用せず、グラニュー糖と国産レモン果汁のみを加え、心を込めて仕上げました。

今後とも皆様に安心しておいしくお召し上がりいただけるジャムをお届けできるよう、利用者さんと一緒に一生懸命、頑張りたいと思います。

わ・は・わ大郷味明分場スタッフ 只野 賢司

*写真①Cap. こだわりのジャム

*写真②Cap. パンによくあいます

②4年連続出演！ とっておきの音楽祭♪

今年で第4回目を迎える「とっておきの音楽祭」。音楽のチカラで、心のバリアを打ち壊そう！という趣旨のもと、仙台の街中を障害がある・ない関わらずたくさんのバンドや団体が、パフォーマンスを繰り広げるこのイベントで、4年間欠かすことなくステージを披露しているわ・は・わオールスターズと、今回2度目の出演になるわ・は・わ大郷のダンスグループとんがりぼうしが、抜けるような青空にも負けないくらいすばらしいステージを繰り広げました。

6/4(日)、勾当台公園円形広場会場のトップバッターとして、わ・は・わオールスターズがステージに。結成してから早6年、今では参加メンバーも10名を超える程大きくなりました。「明日があるさ」やオリジナル曲など、駆け抜けるように次々とパフォーマンスを披露し、あっという間に持ち時間の30分は過ぎていきました。

続いての登場は結成2年目のとんがりぼうし。「水戸黄門のテーマ」など3曲を踊り、トレードマークのピンクのバンダナもひらひら楽しそうに揺れていました。踊りが終わると、踊りのために広がっていたメンバーが全員中央に集まり、「ありがとうございましたー！」と元気に挨拶し、観客から大きな拍手が沸き起きました。

年々進化を続けるわ・は・わオールスターズととんがりぼうし。来年のとっておきの音楽祭でも、素敵なステージを見せてくれるでしょう。

*写真④年々上達、わ・は・わオールスターズ

*写真⑤本番直前のとんがりぼうし

③バリアをぶっこわせ 第8回 ~職員の視点から~

私は現在わ・は・わ宮城野というところで働いています。正式名称は精神障害者小規模通所授産施設わ・は・わ宮城野となります。皆さん、「そうか、精神の障害を持った方が通っているのか。」と思うでしょう。実は、少し違います。精神の障害を持った方の他に、知的障害の方も何名か通っています。

しかし、通っている方々は「知的の人だから」「精神の方だから」と特に意識して日常を過ごしている感じはほとんどないようで、「出来ることは自分で、出来ないことは助け助けられ」という気持ちでお互いを支え合い、喜びや悲しみを分かち合って日々過ごしています。そんな姿を見て、私は「ああ、これが本来何処にでもあるべき姿なのかな。」と、思い、そしてなんだかとても暖かい気持ちになります。

そんな中、今年4月より障害者自立支援法が施行された中にある障害の一元化、障害の種別を問わない共通のサービス提供という特徴をわ・は・わに照らし合わせると類似するのではないかでしょうか？今まで実践してきたことではないかと思います。

しかしながら、今回の法律では障害程度区分による「重度か軽度」、新福祉サービス体系による「就労か介護」の選択が前提となります。先にも述べましたが、わ・は・わ宮城野の利用する方々は多種多様で、その中でお互い助け合い、気持ちを分かち合って過ごしています。そんなわ・は・わ宮城野の良さが今後も無くなるようなことがないようにしていかなければならぬと思っています。

わ・は・わ宮城野スタッフ 相澤 正人

④各施設近況報告 わ・は・わ宮城野編

皆さんはウコッケイをご存知ですか？とても栄養価が高い卵を産む鳥です。有名デパートでも扱っているこの卵、1個300～500円という値段で売られているのです。わ・は・わ宮城野でもこのウコッケイを16羽飼っており、卵を収穫しています。しかも卵の値段は1個100円！！食べてみる価値はあります。その他草木染のシルクスカーフなども販売していますので、興味を持った方はぜひご連絡ください。

⑤社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

- 3月25日に、わ・は・わ宮城野にて社会福祉法人みんなの輪の平成17年度第6回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り ●育児・介護休業規程と役員費用弁償規程の改訂と苦情解決制度設置規程と役員報酬規程の新設について提案され、承認可決された。 ●諸橋悟理事より、自立支援法についての説明があり、各施設より新体系サービスをどの形態へと移行していく予定かが報告され、今後も協議していくことが確認された。
- 吉武洋子理事長より、18年4月1日から現わ・は・わ広瀬指導員の伊藤公善を施設長にとの説明があり、承認可決された。 ●吉武洋子理事長より理事長職務代行者に只野茂博理事、瀬戸節子理事、今福節男理事の順で推薦され、承認可決された。 ●5月30日にわ・は・わ宮城野にて社会福祉法人みんなの輪の平成18年度第1回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り ●諸橋悟理事より役員報酬規程新設に係る定款の第8条の変更箇所について提案がなされ、承認可決された。 ●諸橋悟理事より17年度事業活動報告がなされ、承認可決された。 ●本間碩直理事より17年度決算報告がなされ、承認可決された。 ●各施設長より各施設近況報告がなされた。 ●諸橋悟理事より、自立支援法新体系での事業移行についての説明がなされ、今後も情報収集を行なながら協議していくこととなった。

⑥物品支援いつもありがとうございます！！

皆様よりご支援いただいた布類は染物やバザー販売の為の作品に、食器類は各施設で食事作りの際に使わせていただいております。その他にも多数ご支援いただきまして、本当にありがとうございます。今後とも、ご理解とご協力をお願ひいたします。

みんなの輪通信 vol.25

わ・は・わがホームページを開設しました。http://www15.ocn.ne.jp/~wa-ha-wa/

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 18 (2006) 年 10 月 30 日

① バリアをぶっこわせ！！第 9 回 ～職員の視点から～

自立支援法施行に伴う影響について

自立支援法が昨年成立、本年 4 月から一部施行となり、「障害がある人が地域で安心して暮らせる社会を実現する」を目標に、旧支援費制度から仕組みを大きく変え、障害を持つ方へのサービスが三つの種別（身体・知的・精神）が一元化され、そして給付費 1 割の自己負担制（定率負担）が導入されています。

通所施設を利用している方を例に取りますと、通所利用毎にサービス利用料と食材費の自己負担により生活への影響が深刻なものとなってきています。具体例としては障害によりますが、月 1. 5 ~ 2. 5 万円の負担が発生し、グループホーム入居者のなかでは通所先への昼食代の支払いが出来ない利用者も見られてきているところです。

他方、施設側にとってはサービス利用料の日割り計算の導入と利用料の単価が下げられたことにより前年比二割の減収が見込まれるなか、収入の減少は利用者の直接支援に当たっているスタッフの配置数の見直し（職員数の削減）に直結するもので、サービスの低下が懸念されているところです。また厚労省からは施設の減収対策として、定員を一定数上回っても利用者を受け入れてもかまわないとする通達も出されるなど、早くも制度の歪が見られてきています。

本年 10 月からは自立支援法が本格施行され、新たな障害程度区分による認定作業が現在行われているところですが、その仕組み上身体機能の障害が重く受け止められ、精神的サポートを多く必要とする方にとって支援の必要性が判定に反映されづらいものとなっています。このことは利用できるサービスが限定されるということを示し、「障害がある人が地域で安心して暮らせる社会を実現する」という趣旨から離れ、地域で暮らす利用者からは早速不安の声が聞かれています。

このような不安を抱えた自立支援法ですが 3 年後の制度修正が話され、その際には介護保険制度との完全統合も視野に入っていると言われています。介護保険においては、介護度に応じて利用できるサービスの量が決定されますが、自立支援法と介護保険との統合は障害者の施策において障害程度（介護度）に応じてサービスの量が決定されることが想定されています。具体的には通所施設での毎日の利用が障害程度により週 2 ~ 3 回の利用認定となるケースが考えられ、結果としてサービス利用の抑制が進む懸念も生じています。

利用者・施設双方にとって様々な問題を含んだ自立支援法に対して、当事者団体、関係団体において行政へ働き掛けを行っているなか、自立に繋がる制度へと改善が進むことが願われます。

わ・は・わ大郷 スタッフ 田口 雅一

②自立支援法について

ホームヘルプやショートステイ等々、お年寄りの介護ではよく聞かれる言葉だと思いますが、障害をお持ちの方の生活を支える為に同様の制度が用意されている事は皆さんご存知でしょうか。この法律は障害をお持ちの方の

為の制度です。ここでは自立支援法に基づいてサービスの提供を受ける際の一連の流れについてご説明してまいります。各種サービスを利用される場合、最初はお住まいの市町村窓口にてサービスを利用したい旨をご相談されることから始まります。市町村では申請に基づいて、ご本人やご家族の方へ聞き取り調査が実施されます。調査結果を基に1次判定、認定審査会判定を経て受給者証が発行され、受給者証にはサービスの負担上限額、障害程度区分が記載されます。負担上限額とは一ヶ月のサービス利用料の自己負担の上限額という意味です。この額はご本人の年収等によって金額は様々です。障害程度区分はサービスを利用される場合の一日の自己負担額の単価を導き出すもので、利用されるサービス毎に障害程度区分に基づいた単価が設定されています。さて手続きを終えてサービスの提供を受けることとなるわけですが、その際には事業者より契約を求められますのでサービスの内容等をよくご確認ください。最後になりますが、適切なサービスを受けるためには、やはり市町村窓口でのご相談が一番大切と言えるでしょう。

③5年連続出場！仙精連大運動会

9／15日(金)、仙台市青葉体育館で仙精連大運動会が行われました。今年で第5回目を迎える仙精連大運動会。仙台市内にある精神保健関係の作業所や授産施設が、優勝を目指して集まりました。競技は借り物競争やパン食い競争、綱引きなど。個人競技と団体競技、合わせて9つの種目で熱戦が繰り広げられました。団体競技では他施設との合同チームで出場する種目も多くあり、同じチームになった人同士声を掛け合いながら力を合わせて取り組んでいました。競技中、転んでしまったり、なかなか前に進めないチームには「がんばれー！」の掛け声や拍手が自然と沸き起こるなど、暖かい雰囲気になる場面もありました。わ・は・わは毎年参加しているため、今年で5回目の出場となりました。綱引きでは手に汗を握るような大接戦の末、見事逆転優勝(なんと2連覇！！)を果たしました。今年も笑いあり、真剣勝負ありの運動会をそれぞれ楽しみながら参加していました。

*写真①Cap.

④各施設近況報告 わ・は・わ広瀬 編

わ・は・わ広瀬では、開所してから初めての日帰り旅行を10／19(木)に行いました！行き先は日本三景の1つ、松島です。旅行日和のさわやかな空の下、マリンピア松島水族館や、島巡り遊覧船を楽しみ、海の幸を堪能できました。

自転車・タオルを下さい!!

わ・は・わ広瀬では、クロネコヤマトより、メール便事業の作業を請け負っています。メール便とは、クロネコヤマトの事業所からカタログなどの荷物を預かり、一軒一軒配達をしていく作業です。今は一台の自転車をコースごとに交代で使っていますが、メール便の件数が多いときにはとても時間が掛かってしまいます。もし、使っていない自転車があれば譲ってください！未使用のタオルも譲っていただければうれしいです。連絡先は 022-392-0851 わ・は・わ広瀬までです。宜しくお願いします

⑤社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

●9月28日に、わ・は・わ宮城野にて社会福祉法人みんなの輪の平成18年度第2回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り ●諸橋悟理事より、社会福祉法人みんなの輪の定款第1条の変更箇所について提案がなされ、承認可決された。●本間碩直理事より17年度の決算報告書再提出についての説明及び報告がなされ、

承認可決された。●諸橋悟理事より、経理規程の変更箇所について提案がなされ、承認可決された。●諸橋悟理事より、就業規則の変更の提案がなされ、承認可決された。●諸橋悟理事より、職員給与等支給規程の変更がなされ、承認可決された。●諸橋悟理事より、自立支援法による新体系切り替えの説明がなされ、承認可決された。●本間碩直理事より、小規模作業所つなぎっこ運営参加についての説明がなされ、承認可決された。●わ・は・わ広瀬の伊藤公善施設長より、廃食用油再生燃料化リサイクル事業計画についての説明がなされ、前向きに検討する方向で進めていくこととなった。●大宮司寛理事より、新春ありがとうコンサートについて報告がなされ、内容について了承された。●本間碩直理事より、仙台市北税務署法人課税第2部門の税務調査について報告がなされた。●本間碩直理事より、社会福祉法人みんなの輪本部、わ・は・わ大郷県監査報告及び、みんなの輪施設別事業活動・資産収支計算書についての報告がなされた。その中で、新監事の選出の必要性があがり、後日話し合うこととなった。

みんなの輪通信 vol.26

わ・は・わがホームページを開設しました。http://www15.ocn.ne.jp/~wa-ha-wa/

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 19 (2007) 年 2 月 19 日

①2007 年を迎えて

新年おめでとうございます。皆様よいお年を迎えたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年流行語にもなった「格差社会」、その格差は福祉の現場を直撃し、お金のない高齢者や障害者、社会的に一番弱い立場の人たちに「格差社会」の厳しい現実を突きつけ、一所懸命やろうとしている福祉施設に打撃を与え続けています。そんな中でも、みんなの輪は皆様のご理解とご支援に文字通り支えられ、活動を展開できることは、感謝で一杯です。私たちも出来る限りの自助努力をして参りますが、どうぞ本年も皆様のお力を貸していただきたく、お願い申し上げます。

社会福祉法人 みんなの輪 理事長 吉武洋子

*写真①

②バリアをぶっこわせ 第 10 回 ～職員の視点から～

私は、わ・は・わ大郷味明分場に勤めておりますが、今回は自立支援法への移行に伴う施設利用者の負担増についてお伝えしたいと思います。負担増は大きく分けて 2 つあります。まず、施設利用に伴う自己負担金です。この負担金は施設を利用する都度に発生し、在宅の利用者を例にとりますと少ない方で 8 千円位、多い方で 1 万 7 千円位、日々支払うこととなります。また、給食費もあります。当分場ではほとんどの方が給食を利用していますので、これも日々 7 千円前後の負担が発生することとなります。

こうして利用者の方には支出が増えてきていますが、反対に収入に目を向けるとどうでしょうか。当分場では 1 ヶ月に 6 ~ 8 千円の作業料金が支払われていますが、単純計算すると施設を利用して赤字になってしまいます。利用者の方は年金や生活保護等がありますのでトータルの生活費は赤字とはなりませんが、やはり厳しい生活であることは間違いないようです。こうした負担増の影響から施設利用を諦める方も現れてきたと聞かれます。わ・は・わ大郷では保護者や関係者の方に向けて説明会を行う中で幸いにして退所された方はおられませんが、これまで以上に、利用者から必要とされる施設であり続ける努力が求められています。

このように当事者の方々や関係者にとって戸惑いの多い新法ですが、利用者の方とスタッフ、一丸になって乗り越えて行きたいと思います。

わ・は・わ大郷 味明分場スタッフ 佐藤 牧

*写真②Cap. わ・は・わ大郷のジャムには利用者さんの思いが込められています

③大郷につづき、仙台でも自立支援法が本格施行されました

障害者自立支援法が昨年 10 月に本格施行され、3 ヶ月を過ぎました。仙台のわ・は・わとわ・は・わ沖野は、

12月1日から自立支援法の新体系に移りました。4月にはわ・は・わ宮城野とわ・は・わ広瀬も移ることになります。わ・は・わ大郷は、現在、自立支援法下で支援費が大幅に減額され、苦しい施設運営の制度の中で運営していますが、追って移行をすることになります。

この障害者自立支援法は、大きく3つの点に特徴と問題点があると思います。

1. 三障害共通の福祉サービスに

まず、障害別福祉の分け方でなくなったことです。身体・知的・精神の三障害が「介護給付」、「訓練等給付」、「地域生活支援事業」のサービスに分けられ、障害者が生活するために必要なサービスを「障害の程度区分（怪しい物差ですが…）」で、選ぶことになったこと。従って、「精神障害者授産施設」とか「知的障害者ディサービス」という障害名を付けた名称はなくなりました。一方、必要なサービスもいくつか消えた、受けづらくなったりという声も聞かれます。また、発達障害の方など制度に適用されない方もいます。

2. 応益負担（利用料）と運営費の問題

お金の出方が変わりました。三障害共通の制度になりましたが、国や自治体の裁量で補助金で運営していた精神の施設、わ・は・わも身体、知的同様、義務的給付=国の基準による報酬での運営になりました。だから、仙台の施設は、少しでも安定した運営を望んで移行しました。一方、毎月だった支援費制度は日割り計算になり、利用者に休まれると収入が減ったり、また利用者が具合が悪くて休んだり、時間枠外の緊急的な施設外の支援も出来にくいくらいなどの問題も出てきます。特に重要なのはこれまで支援費で運営してきた施設などの大幅な収入源です。例えば、同じ利用者が支援費だと月額15万円から、就労継続Bというサービスを受けると月20日通所の計算で9万2千円に減額となります。これでは運営できません。職員の給料を減らしたり、パートの職員で代替しないと厳しい状態です。わ・は・わ大郷ですと年1千万円強の減収です。これではたまりません。

利用者にとって何よりも問題なのは、応益負担（利用料）と給食費などが実費負担となったことです。利用するサービスの1割の費用負担をしなければなりません。これまで応能負担といって家族の収入によって利用料が決められ、給食もみんな平等でした。昼を抜いたり、通所をやめたりする方も出てきています。福祉施設に働きに来ているのにお金をとられるという矛盾に満ちた内容になっています。自立支援法では生活を維持するために多くのサービスを必要とする重度の方ほど負担する利用料が多くなり、制限せざるを得ません。また、サービス量も減らされています。私の知り合いは、介護時間を月290時間を制限され、夜間は寝返り出来ず、紙おしめをしろ、ということです。非情です。生きるために必要なことが「益」でしょうか？無いものから搾り取るのは福祉とはいえない。最低限の生活を保障した憲法25条に抵触しませんか？支援費から、自立支援法に変わったのは、お金を減らすのがほんとの狙いです。この利用料と苦しい運営を強い自立支援法を変えていく必要があります。

国の財政破綻を弱いものにしづ寄せするのではなく、税の配分方法、使い方を大きく見直すことが必要だと思います。

3. 就労支援が課題－障害者の働く場を！

わ・は・わ若林と沖野は、一般就労（就職）したい方を支援する「就労移行支援」と、わ・は・わに通つて日中を充実した作業で過ごしたい（福祉的就労）という利用者の意向を受けて「就労継続B」という事業形態を選択しました。この社会の一員として、あいコープの作業や石けん作りなどの作業を更にすすめたいと思います。また、みんなの輪後援会として支えていただいている事業所・企業の方にはぜひ職場見学や実習などをお願いしていきたいと考えています。職員は、今、障害者雇用促進のエキスパートになるべく制度や支援のあり方を実践を通して学んでいます。

しかし、ここにも問題があります。利用者が一人就職すると、施設に加算がつきます。その加算分も利用料の計算に組込まれ、残った利用者の負担が増えます。成果主義と訓練主義、健常者に近づけという考えが中心です。

社会の理解もまだまだで障害者を受け入れてくれる企業があまりにも少ないので現状です。私たちの熱意と力が試されるところです。

障害者福祉の基本は、「障害のあるなしにかかわらず、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりをめざして」、私たち一人ひとりが互いに助け合うことから始まります。「美しい国」ならぬ「残酷な国」にならないように、これから社会の「お荷物」といわれる団塊の世代の私も想像力と創造力を出来るだけ出して戦いたいと思います。

わ・は・わ施設長 諸橋悟

④社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

●11月1日に、わ・は・わ宮城野にて社会福祉法人みんなの輪の平成18年度第3回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り ●諸橋悟理事より、障害者自立支援法の障害者福祉サービス事業所への移行に伴う経営資金として、独立行政法人福祉医療機構より6,500,000円を借入する提案がなされ、承認可決された。可決に伴い吉武洋子理事長、諸橋悟理事が連帯保証人として決定された。 ●わ・は・わ広瀬の伊藤公善施設長より、廃食用油再生燃料化リサイクル事業計画の説明がなされた。計画の進行は、3月中旬に予定されている日本財團の助成交付結果通知を待ち、その後検討していくこととされた。 ●本間碩直事務局長より、9月までの決算報告がなされた。 ●12月2日に、わ・は・わ宮城野にて社会福祉法人みんなの輪の平成18年度第4回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り ●諸橋悟理事より、自立支援法体系に移行したため、「精神障害者小規模通所授産施設」と定款に記載されているわ・は・わ及びわ・は・わ沖野を「障害福祉サービス事業」として変更する旨が説明され、承認可決された。 ●仲野谷仁施設長より、わ・は・わ宮城野及びわ・は・わ広瀬の障害者自立支援法の障害者福祉サービス事業所への移行に伴う経営資金の借入について説明がなされ、承認可決された。 ●諸橋悟理事より、経理規定の変更の説明がなされ、承認可決された。 ●本間碩直事務局長より、18年度補正予算について説明がなされ承認可決された。 ●仲野谷仁施設長より、わ・は・わ宮城野の車輌購入について説明がなされ、承認可決された。 ●本間碩直事務局長より、県の監査での指摘を受けてわ・は・わ大郷工賃支給規程を作成したことが報告された。 ●諸橋悟理事より12月より自立支援法体系に移行したわ・は・わ及びわ・は・わ沖野の運営規定について説明がなされた。 ●わ・は・わ、わ・は・わ沖野、わ・は・わ宮城野、わ・は・わ広瀬それぞれの施設長より、仙台市の施設監査報告がなされた。 ●吉武洋子理事長より、評議員が1名欠員となるため諸橋悟理事に評議員を委嘱したい旨が述べられ、全員余儀なく同意された。 ●杉内香織施設長より、わ・は・わ及びわ・は・わ沖野が自立支援法体系に移行する際に借り入れた運営資金の返済計画について説明がなされた。 ●本間碩直事務局長より、仙台市の補助事業の基準と小規模作業所つなぎっこ平成19年度予算案の説明がなされた

⑤各施設近況報告 わ・は・わ大郷 編

去る12月15日、わ・は・わ大郷では味明分場と合同で恒例となったもちつき会が行われました。当日はボランティアさんのお手伝いをいただきながら威勢のいい掛け声とともに沢山のお餅がつかれ、その様子は大郷町の広報誌の表紙を飾りました。お餅をみんなで食べた後は町内で活動されている「コールカッコウ」の皆さんによるコーラスを聴いたり、「活気活気レクダンス」の皆さんと一緒に踊ったりと楽しいひと時を過ごしました。

⑥物品提供のお礼

前回のわ・は・わ広瀬の近況報告で、自転車の提供をお願いしたところ、すぐに問い合わせがあり、自転車の寄付をいただきました。ご協力してくださった方々、ありがとうございました。

みんなの輪通信 vol.27

わ・は・わがホームページを開設しました。http://www15.ocn.ne.jp/~wa-ha-wa/

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 19 (2007) 年 4 月 16 日

①自立支援法によっての変化とは？～現場からの視点～

当施設(わ・は・わ若林)がわ・は・わ沖野と一体化して、自立支援法に移行したのは昨年 12 月のことです。移行前には福祉サービスを受けるための障害程度区分認定調査(障害のレベルを調べるもの)が、当施設にて行われました。緊張気味の利用者の横で、一緒にドキドキしていたのを覚えています。その後は利用契約の手続きや個別支援計画書の作成、個人面談などで慌しく時間が過ぎていきました。

移行後の工賃は、それまでのランク(能力に応じて工賃額が変わるもの)がなくなり、どの人も半日 300 円と一律になっています。しかしそのことで工賃が上がったと喜ぶ人、逆にモチベーションが下がる人などが出できました。一律になったのには理由があり、個人の技術によって工賃を変えてはならないと国で定められているからです。これまで以上に利用者が工賃にシビアになったことはいうまでもなく、何度かミーティングで話し合いを持ちました。中には、「例え怠けてやっていても同じ工賃しか発生しない、やる気がなくなる」というマイナスな意見もありましたが、「一人ひとりの力を認め合って、みんなでフォローしていこう」という前向きな意見も上がりいました。こんな時だからこそ、みんな気持ちをひとつにしていかなければならないように感じます。

昨年、利用料の問題や就職などを理由に、数名が施設を離れました。しかし、病気の再発など様々な事情から通所を再開し、また賑やかなわ・は・わに戻りつつあるようです。嬉しいような悲しいような複雑な気持ちではあります、施設の必要性を考えずにはいられません。問題だらけの自立支援法ですが、私たちに何かしら問題を提起し考える機会を与えてくれたようにも感じます。もう一度「通所」の意味を、当時者そしてそれを支える家族が理解を深めていくことが求められているのではないでしょうか。

②バリアをぶっこわせ 第 11 回 ～職員の視点から～

ジョブガイダンスを行いました

2 月 6 日から 22 日の間の 5 日間、わ・は・わを主な会場にして精神障害者ジョブガイダンスを行いました。ジョブガイダンスはハローワークが就労支援のために行っている事業のひとつです。「就職したい」と考えている精神障害の方が対象で、就職活動に関する知識や方法を学びます。今回はわ・は・わ、わ・は・わ沖野、わ・は・わ宮城野から合計 11 名の方が参加しました。5 日間のガイダンスの内容は表の通りです。2 日目の意見交換は質問や意見が活発にでて、当初 1 時間程と予定していたものを 2 時間に変更して行いました。また、ハローワーク訪問では実際に求人票の検索を行い、面接の受け方の講義ではどのように病気のことを伝えるかということについて講師の方と一緒に話し合いま

した。参加したメンバーさんの声を紹介します。「いろいろ勉強になった」「現場の人の話が聞けてとても参考になった」「あいさつの意味がわかった」「面接の受け方と履歴書の書き方を細かく教えられとても参考になりました」「無理のない内容だったので全部のガイダンスを受けることができたのがうれしかった。内容に興味が持て有意義な時間でした」今回のジョブガイダンスは参加したメンバーさんにとってもスタッフにとっても、いい刺激

となりました。今後は就職に向けて具体的な活動をしていきたいと思います。

わ・は・わ沖野スタッフ 成田 岳

*表にしてください

ジョブガイダンスの内容

- (1日目) 働くことについて考える
- (2日目) 就労中の当事者との意見交換
- (3日目) ハローワーク訪問
- (4日目) 面接の受け方・履歴書の書き方
- (5日目) 面接の受け方

*写真①Cap. 真剣な表情の参加者

③社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

●3月17日に、わ・は・わ宮城野にて社会福祉法人みんなの輪の平成18年度第5回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り ●事務局より、わ・は・わ宮城野、わ・は・わ広瀬、小規模作業所つなぎっこが自立支援法の新体系移行に伴い、定款の変更が必要であることが説明され、全員異議なく承認可決された。●事務局より、定款変更に伴う諸規定の変更の説明がなされ、全員異議なく承認可決された。●吉武洋子理事より、自立支援法の新体系事業である「仙台市障害者小規模地域活動支援センターつなぎっこ」の施設長を、つなぎっこ現指導員である川村秋子氏を任命、また、同時にその他の規定等で精神障害者小規模通所授産施設の表示のあるものは、一括して同様に変更することを提案され、全員異議なく承認可決された。●本間碩直理事より、平成18年度補正予算案の説明がなされ、全員異議なく承認可決された。●平成19年度予算案及び事業活動計画案について、各施設長及び管理者より説明がなされ、全員異議なく承認可決された。●わ・は・わ宮城野・広瀬運営規定及びつなぎっこ運営規定の件について、わ・は・わ宮城野・広瀬各施設長より報告がなされた。●わ・は・わ・沖野運営規定の改定(定員の変更)について、管理者の諸橋悟氏より説明がなされた●わ・は・わ大郷粕川本場・味明分場運営規定の改定の件について、本間碩直施設長より説明がなされた●事務局より、わ・は・わ遠見塚の工事の進展状況の説明がなされた。

④各施設近況報告 わ・は・わ 編

最近メタボリック症候群という言葉をよく耳にします。最近わ・は・わ(若林)ではメンバーさんが健康診断を受けました。結果、ほとんどの人がメタボリックの注意チラシが入っていました。

そこで注目すべきは、わ・は・わ(若林)が販売をしている乾燥糸こんにゃく。低カロリーで、食物繊維が普通のこんにゃくの1.5倍もあります。そのため腸のお掃除やダイエットにとても喜ばれています。鍋の季節が終わろうとしていますが、何かと役に立つ代物です。なんと2年間保存できます。お届けにあがりますので、ぜひご連絡ください。25g×10個で500円です。

年度が変わり、わ・は・わは今年も精一杯働き、笑いたいと思います。

みんなの輪通信 vol.28

わ・は・わがホームページを開設しました。http://www15.ocn.ne.jp/~wa-ha-wa/

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 19 (2007) 年 7 月 23 日

①ご挨拶

誰もが安心して心豊かに暮らせる地域社会実現をと、社会福祉法人みんなの輪がスタートしてから 5 年、初めて小規模作業所わ・は・わ若林を立ち上げてから 10 年になりました。後先考えずに走り出した「みんなの輪」をこの間支えていただいた、あいコープみやぎの皆様、後援会の皆様、また地域の皆様には感謝で一杯です。おかげさまで、「みんなの輪」は仙台市と大郷町で 8 施設を運営、利用者も 130 名を越え、地域社会に必要とされる存在になれたと、いささか自負しております。

自立支援法が施行され、いわば『福祉の出来高払い』になり、社会福祉法人の経営は厳しさを増しております。特に精神障害者中心の施設は利用者の利用が不安定な面が大きく、『出来高払い』では施設の安定経営が困難になります。社会福祉の基盤は人であり、福祉の現場が低賃金長時間労働であってはなりません。幸い「みんなの輪」は、皆様から様々な面でご支援をいただける分大きく恵まれており、健全経営が出来ていることを重ねて感謝いたします。

「みんなの輪」役職員一同、今後も目標に向かい、利用者のために質の高いケアを提供して参ります。どうぞ、皆様のよりいっそうのご支援ご指導をお願いいたします。

社会福祉法人みんなの輪理事長 吉武洋子

②2006年度(平成18年度)事業報告

◎期間 自 2006 年 4 月 1 日 (金) 至 2007 年 3 月 31 日(金)

◎法人

1 名称 社会福祉法人みんなの輪

2 本部所在地 宮城県仙台市宮城野区燕沢 3-1-10 TEL 022 (388) 4188

3 法人認可日 2002 年 (平成 14 年) 2 月 13 日

4 法人登記日 2002 年 (平成 14 年) 2 月 21 日

◎事業内容

第 1 種社会福祉事業

知的障害者更生施設（通所）わ・は・わ大郷

知的障害者更生施設（通所）わ・は・わ大郷・味明分場

第 2 種社会福祉事業

障害福祉サービス事業所 わ・は・わ (就労継続支援 B 型)

障害福祉サービス事業所 わ・は・わ沖野 (就労意向支援、就労継続支援 B 型)

精神障害者小規模通所授産施設わ・は・わ宮城野

精神障害者小規模通所授産施設わ・は・わ広瀬

障害福祉サービス事業所 グループホームおらほ

◎評議員会・理事会の開催 いずれもわ・は・わ宮城野で開催

● 5月30日 第1回評議員会・理事会

平成17年度事業活動報告

平成17年度決算報告

自立支援法の新体系への事業移行について論議

● 9月28日 第2回評議員会・理事会

グループホームおらほが自立支援法の共同生活援助になることによる定款の変更

○障害福祉サービス事業所 グループホームおらほ

経理規程（現金出納帳の追加）、就業規則（グループホームおらほの移行による）、職員給与支給規定（職務手当の新設）の変更

17年度決算書の再提出と承認（財産目録）

自立支援法の新体系への事業移行について論議と確認・決定

県監査結果報告

● 11月1日 第3回評議員会・理事会

わ・は・わ（若林）及び沖野が自立支援法の障害福祉サービス事業所に12月1日より移行するにあたって、つなぎ資金650万円を福祉・医療機構より借り入れることを決定

廃食油の再生リサイクル燃料化について論議

● 12月2日 第4回評議員会・理事会

わ・は・わ（若林）及び沖野が自立支援法の障害福祉サービス事業所に12月1日より移行するにあたって、定款の変更及び諸規定の名称変更

わ・は・わ宮城野、広瀬の新体系移行に伴うつなぎ資金の借入（300万円）の決定

わ・は・わ大郷の補正予算の承認

わ・は・わ宮城野の車両購入について

小規模作業所「つなぎっこ」の経営受託について

新監事の選任 千田 芳明 氏

仙台市施設監査結果報告

● 3月17日 第5回評議員会・理事会

わ・は・わ宮城野及び広瀬が自立支援法の障害福祉サービス事業所に4月1日より移行するにあたって、定款の変更及び諸規定の名称変更

仙台市障害者小規模地域活動センターつなぎっこ施設長の任命 川村 秋子

平成18年度補正予算案の承認

平成18年度事業計画・予算案の討議・承認

③社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

●5月31日に、わ・は・わ宮城野にて社会福祉法人みんなの輪の平成19年度第1回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り ● 各施設長より、平成18年度の事業活動報告について説明がなされ、原案通り承認可決した ● 各施設長より、平成18年度の決算報告がなされ、原案通り承認可決した ● 本間碩直理事より、平成18年度事業活動及び決算監査報告について説明がなされた ● 6月19日に、わ・は・わ宮城野にて社会福祉法人みんなの輪の平成19年度第2回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り ● 若林区障害者センター（遠見塚）内設置事業所「ぽぽらあの」の開設及び運営資金借り入れの件について、準備担当職員の相澤より説

明及び提案がなされ、意見交換が行われた。本件の採決に入り、賛成多数により承認可決された。

④各施設近況報告 ～つなぎっこ編～

4月1日より社会福祉法人みんなの輪の仲間入りをさせていただきましたつなぎっこです。

つなぎっこは、8年ほど前にフリースペースつなぎっことしてスタートしました。やがて仙台市から補助を受けて、小規模作業所つなぎっことして6年あまり活動をしておりましたが、4月から小規模地域活動センターつなぎっことなりました。パソコン作業・さをり織り作業・お手玉などの手芸作業をしています。これからよろしくお願ひします。

施設長：川村 秋子

⑤物品支援のお願い

ミシン、アイロン、アイロン台

わ・は・わ大郷味明分場では、作業に使うミシンとアイロン、アイロン台が不足しています。ご家庭で眠っているミシン、アイロン、アイロン台がございましたらどうぞご協力をお願いいたします。

連絡先：022-359-9501 担当：安田

みんなの輪通信 vol.29

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 19 (2007) 年 10 月 15 日

①いよいよ開所！わ・は・わ遠見塚「ぽぽらあの」

10月23日にいよいよ、仙台市若林障害者福祉センター内にわ・は・わ遠見塚「ぽぽらあの」がオープンします。明るい雰囲気の店内で、誰もがゆっくりと食事やお茶を楽しんでいただけるような空間をつくってお待ちしていますので、皆様お気軽にお立ち寄りください。

<ぽぽらあのスタッフよりご挨拶>

このたび、今月23日に社会福祉法人みんなの輪より、仙台市障害者小規模地域活動支援センターとして新たに開所することとなりました。場所は国道4号線より一歩入った遠見塚東というところに喫茶・レストランとしてオープンします。ここでは、「ぽぽらあの」を通して障害のあるなしに関わらず、いろいろな人が集まることで、ひとりひとりがお互い生き生きとなれるような場所を目指しています。お薦めメニューは当店オリジナル「イタリアンカレー」。玉ねぎをしっかりと炒めてから作る本格派です。「ぽぽらあの」メンバー一同お待ちしております。

わ・は・わ遠見塚「ぽぽらあの」 相澤 正人

<連絡先はこちら>

若林区障害者センター内わ・は・わ遠見塚「ぽぽらあの」

仙台市若林区遠見塚東8番1号

TEL 022-294-0450 (代表)

FAX 022-285-2430

写真①cap.和やかな雰囲気でお待ちしております

②皆勤賞です♪とておきの音楽祭

今年で第5回目を迎える「とておきの音楽祭」。障害のある人もない人も一緒に演奏を楽しみ、音楽のチカラで「心のバリアを打ち壊そう！」という趣旨のもと、仙台の街中を220以上のバンドや団体が、歌やダンスなどの様々なパフォーマンスを繰り広げました。5年連続で出演のわ・は・わオールスターズ（結成7年目！）と、今年で3度目の出演となるわ・は・わ大郷のダンスグループ「とんがりぼうし」は定禅寺通り沿いの一角をステージに、すがすがしい天気のなかそれぞれの持ち味を發揮した素晴らしいステージを披露してくれました。そのパフォーマンスに引き寄せられ集まった観客の皆さんからは自然と手拍子が沸きあがり、一緒に歌を唄って楽しんでいる姿も見受けられました。「とておき=VERY SPECIAL」。音楽と仲間たち。2007年のとておきの音楽祭も、たくさんの笑顔と個性が輝いた一日となりました。

写真②cap.踊りを披露したとんがりぼうし

写真③cap.熱唱！わ・は・わオールスターズ

③がんばりました！！第6回仙精連大運動会

9/14日(金)、仙台市青葉体育館で第六回仙精連運動会が行われました。仙台市内にある精神保健関係の施設が集まり、優勝目指して熱戦が繰り広げられました。競技はボール送り、綱引き、パン食い競争や、今大会より新たに加わったスリッパ飛ばしなど九種目でした。団体競技では他施設と合同チームでの出場もあり、同じチームになった人同士各施設の枠を越えて、励まし合い助け合っての様子が多く見られました。その中でも一際大きな盛り上がりを見せた綱引き競技では激しい接戦の末わ・は・わ広瀬チームが見事な優勝をかぎり大歓声に包まれていました。また、今回の運動会にも学生の方を中心としたボランティアスタッフが競技をスムーズに進められるよう会場内を奔走してくれ、参加したメンバーさん達も競技に専念し楽しむことができたようでした。今年も参加したメンバーさんが気持ちよく体を動かし、笑顔が耐えなかった運動会になりました。

写真④

④社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

●9月29日に、わ・は・わ宮城野にて社会福祉法人みんなの輪の平成19年度第3回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り ● 諸橋悟理事より、定款準則改正に伴い、第1条(目的)については施設毎の記載から施設種別毎に記載する旨が説明され、承認可決された ● 諸橋悟理事より、「仙台市障害者小規模地域活動センターぽぽらあの」の設置運営の件について説明がなされ、承認可決された ● 諸橋悟理事より、「仙台市障害者小規模地域活動センター「ぽぽらあの」の設置運営に伴う諸規定の変更について説明がなされ、承認可決された ● 本間碩理事より、来年度からの大郷のケアホーム設置運営について説明がなされ、承認可決された ● 本間碩直理事より、本部・大郷・つなぎっこ監査報告がなされ承認可決された ●

⑤※今回「バリアをぶっこわせ～スタッフの視点から～」はお休みさせていただきました。

⑥各施設近況報告～わ・は・わ沖野編～

夏の日ざしも弱まり、徐々に肌寒くなってきた今日この頃。季節はゆっくりと秋に移り変わろうとしています。秋といえば、スポーツ・食欲・芸術ですよね。わ・は・わ沖野では、「スポーツの秋」にふさわしく「仙精連の大運動会」や「バレーボール大会(全国予選)」に出場してきました。楽しさや笑顔の中に、時折真剣な表情を見せつつ、みんなで気持ちの良い汗を流してきました。

⑦物品支援、ありがとうございます！！

アイロン台とアイロンの寄付をいただきました。ご協力いただきありがとうございました。

みんなの輪通信 vol.30

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 20 (2008) 年 1 月 21 日

① 今年もみんなの輪をよろしくお願ひいたします！！

新年おめでとうございます。皆さま良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中、みんなの輪には皆様から本当に多くのご支援をいただきました。年頭にあたり改めて感謝いたします。社会的格差が広がり、福祉を取り巻く状況は厳しさを増すばかりですが、今年も役職員一同、利用者の方々に喜んでいただける施設として、また地域福祉の担い手として、しっかりと職責を果たして参ります。後援会の皆さん、あいコープみやぎの皆様、どうぞ本年もご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。2008年、皆さまのご多幸と、地域社会で援け合い支えあう、みんなの輪がますます大きく広がることを願って、新年のご挨拶といたします。

社会福祉法人みんなの輪 理事長 吉武 洋子

写真①

②行ってきました！ぽぽらあの♪

まだ建ったばかりの若林障害者福祉センターに入り、廊下を左へ歩いていくと「ぽぽらあの」の看板が見えてきます。訪れたのは12月でしたが、テラスから暖かい日差しが入り、店内はとても明るい雰囲気でした。カウンターで談笑する方、センターの職員さんとテーブルを囲みながらお茶を飲む方など、時間がゆっくり流れているように感じられました。今日のおすすめパスタを注文すると、冬至かぼちゃにちなんでかぼちゃのクリームパスタが出てきました。黄色のかぼちゃクリームに、ピンクペッパーの赤とパセリの緑がクリスマスカラーを演出しており、目でも楽しめるお料理でした。かぼちゃのクリームの味に途中飽きてしまうのでは…？と思いつつ食べ始めましたが、思ったよりもさっぱりとしていてあっという間に食べてしまいました。食後にはおいしいコーヒーと手作りの焼き菓子をいただき、大満足のランチタイムとなりました。一押しのヘルシーイタリアンカレーも食べてみたい！と思い、テイクアウトすることに。味は、ぜひ足を運んでいただき確かめていただきたいです！！試作を何度も重ねて出来上がったイタリアンカレーです。ぽぽらあので働くスタッフとメンバーさんの一生懸命さが、一口食べるごとに美味しさと共に伝わってくると思います。

写真②cap.ヘルシーイタリアンカレー

写真③cap.接客もがんばっています

③バリアをぶっこわせ ~スタッフの視点から~

「今週はフットサルあるの？」そんな事をよく、いろいろなメンバーさんから聞かれるようになりました。今、わ・は・わでは余暇活動の一つとして、月に2~3度、松森のスポーツパークに集まりフットサルの練習を行っています。そこではメンバー、スタッフに限らず、その友人、知人なども一緒に汗を流し、楽しく、そして真剣

にボールを追いかけています。さっきまで全く顔も知らなかったもの同士でも、練習が始まってしまえば互いに声を掛け合い、助け合い、いつの間にか「フットサル仲間」になってしまいます。そんな所がこのスポーツの魅力ではないでしょうか。しかし中には、自分のプレーに自信がなく、思わず消極的になってしまう人もいます。私が初めてこのフットサルに参加したとき驚いたのは、こういった人に対して皆が声を掛けパスを回していくうちに、いつの間にかさっきまで消極的だった人が笑顔でプレーをしていた、ということです。これはスポーツがつくる和であり、わ・は・わの「輪」にもつながるものなんだなと感じました。これからも、このフットサル活動を通して、プレー自体の向上はもちろん、さらにこの「輪」を広げていけるよう努力していきたいです。そしてこれからも増えていくであろう「フットサル仲間」達から「今週はフットサルあるよね？」と言ってもらえれば幸いです。

わ・は・わ（若林）スタッフ　只野　誠

④社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

●12月15日に、わ・は・わ宮城野にて社会福祉法人みんなの輪の平成19年度第4回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り ● 諸橋悟理事より、旅費規程変更にあたる説明がなされ、承認可決された ● 各施設長より、19年度補正予算案が予算書に基き報告された ● 本間碩直理事より、指導監査について報告がなされ承認可決された ●瀬戸節子理事より、ありがとうコンサートについて、現状報告がなされた ●吉武洋子理事より、給与表の見直しの意見があがった。

⑤施設の近況報告 ~わ・は・わ大郷+味明分場編~

去る10月にわ・は・わ大郷では東北労働金庫主催の「施設製品採用コンペ2007」に「阿部笙子の版画入りクローゼットケア」(竹炭の手芸品)を出品し、応募作品37点中、採用の10点の中に選ばれました。11月から始まった「社会貢献定期預金キャンペーン」の景品として、宮城県内や仙台市内の他の施設の授産品とともに、店頭に並べていただいております。

「阿部笙子の版画入りクローゼットケア」は本場と味明分場がそれぞれに作業を分担して作っている製品です。それだけに採用の通知をいただいた時は、わ・は・わ大郷みんなで大喜びしました。しかし、1ヶ月たらずで200個を納品しなければならなかつたので、利用者・職員ともに集中して作りました。

今回のような、授産品を社会に紹介していただく取り組みは、大変有り難いものです。これからも機会があれば、どんどん挑戦したいと思います。

わ・は・わ大郷 味明分場スタッフ 安田たかね

写真④Cap.「阿部笙子の版画入りクローゼットケア」

みんなの輪通信 vol.31

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

<http://www.minnanowa.org>

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 20 (2008) 年 4 月 21 日

① 今年はお米作りに挑戦します！～おいしく安全な米粉パンを目指して～

わ・は・わ大郷味明分場でパンの製造を始めて、ちょうど丸3年を迎ました。おかげさまで「もっちり米粉パン」をはじめとする、米粉のパンシリーズの売れ行きが好調で、職員・利用者ともに一生懸命パン作りに励んでおります。

また、農園の作業班では、農薬を使わない、おいしい野菜作りを行っております。農園班とパン工房が力を合わせて作った「わ・は・わで採れたほうれん草の米粉パン」は、苗の頃からBM活性水をふんだんに使って育てた、あまく美味しいほうれん草が原料になっています。

その農園班が今年は稻作に挑戦します。米作りは大郷グリーンファーマーズさんのご指導をいただきます。まずは1年目、おいしいお米が収穫できるよう、みんなで頑張りますので、応援をよろしくお願ひいたします。

わ・は・わ大郷（味明分場）スタッフ 安田 たかね

写真①Cap. 「今、採れてるほうれん草と一緒に、農園班の皆さん」

写真②Cap 2. パン工房にて「袋詰め」

②バリアをぶっこわせ ～今回は地域との関わりをテーマに～

私達のわ・は・わ大郷では、日頃から地域の方々のご協力をいただいています。

まず、月に1回「生き生きレクダンス愛好会」の方々に来ていただき、レクダンスを教わっています。開所して間もなく定期的に来ていただいているので、もう4年になります。最近では仙台市内で行われる、♪とておきの音楽祭♪へも一緒に参加していただくなど、利用者さんとのチームワークも上々です。

また、毎年の行事となっている「お祭り」や「餅つき大会」は、ボランティアさん達の協力なしでは行えません。毎年来ていただいているおかげで、利用者さんとも顔なじみになり、逢うと「元気だった？」と気軽に声をかけてくれます。

またそんな時、利用者さん達は、人の笑顔を引き出す天才だなあと思い知らされます。

利用者さん達が「おはよう！」「こんにちは！」と声をかけると、ほとんどの人がニッコリと大きな笑顔を見せてくれ、時には「はい、握手！」と利用者さんの手を取り、元気づけてくれます。

その他にも、近隣のお宅へパンの配達に行くと、「パン、美味しいよ！頑張ってね」と声を掛けられ、またお散歩の時には、「どこまで行くの？」など、いつも温かく接していただき、そのたびに、「ありがたいなあ」、「見守られているんだなあ」と感じています。

こうして、地域の皆さんに支えられながら、わ・は・わ大郷は今年の9月で5周年を迎えます。ここには、いつでも沢山の笑顔の花が咲いています。

わ・は・わ大郷スタッフ 木村 裕美

③HPがつなぎっこによってリニューアルされました!!

柏木2丁目の少し狭い通りに看板を掲げる、小規模地域活動センター「つなぎっこ」。昨年の4月からみんなの輪の一員となり「障害や悩みを持つ人も持たない人も、皆でつながって助け合おう。」をモットーに活動しています。主な作業は、パソコンでの名刺やHPの作成・織物・手工芸品作りです。今回は、3月からリニューアルしたみんなの輪HPの作成・編集に携わる利用者さんに話を聞く事ができました。

作成にあたり気を付けた点は、サイトの構造をできるだけ単純にし、初めてこのサイトを訪れた人でもわかりやすく、見やすいようにするという事だったそうです。さらに、トップページではみんなの輪パンフレットを元にし、あくまでもそのイメージを離れてしまわないよう注意をしていた様です。そして、最後に「たくさんの方に見てもらえばそれだけで嬉しいです。」という言葉を頂きました。これだけ一つの作業を真摯的に、そして情熱を持って行う人が集う「つなぎっこ」。これからも活躍にも期待していきたいです。

写真③cap.HP作成中です

④社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

2月9日に、わ・は・わ宮城野にて社会福祉法人みんなの輪の平成19年度第5回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り●吉武洋子理事より、第4期役員改選についての提案がなされ、承認可決された●3月30日に、仙台市若林障害福祉センターにて社会福祉法人みんなの輪の平成19年度第6回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り●事務局長と各施設長より、平成20年度収支予算案及び事業活動計画案について説明がなされ、承認可決された●事務局長より、給与規定についての説明がなされ、承認可決された●前期末支払資金残高のうち、20,000,000円は定期預金とすることが承認可決された。

⑤施設の近況報告 ~わ・は・わ遠見塚「ぽぽらあの」編~

わ・は・わ遠見塚が10月24日に事業開始されてから半年が経とうとしています。

初めての喫茶・レストラン。職員も利用者も緊張と不安の連続でした。

しかし、時間が経つごとに緊張や不安もやわらぎ、笑いが絶えない和やかな雰囲気が出来たように思えます。またそれと同時に、みんなで作りたいお菓子のレシピを持ち寄って試食をし、良ければお試しメニューとして出すにつれ、メニューの種類も増えてきました。初めはビスコットしか作れなかつたのに、今では数種類のケーキが作れるまでになりました。

まだまだ、課題はたくさんありますが、わ・は・わ遠見塚のスタッフもメンバーも、皆様にとってより良い喫茶・レストランとして、またわ・は・わとして成長出来るように頑張っていきます。

みんなの輪通信 vol.32

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

<http://www.minnanowa.org>

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 20 (2008) 年 7 月 21 日

①

②わ・は・わ大郷 ケアホーム設置について

わ・は・わ大郷ではこの4月より、宮城県社会福祉協議会より大郷町と松島町の二ヶ所のケアホームを譲り受け運営を開始しました。

この二ヶ所のケアホームはいずれも入居者がわ・は・わ大郷の利用者でもあることから仕事の場と生活の場をトータルで支援し安心して暮らせる環境を提供できるものと考えております。

また、今回譲り受けたケアホームの運営を通して支援のノウハウを積み重ね、今後わ・は・わ大郷として新たにケアホームを設置したいと考えています。

わ・は・わ大郷スタッフ 田口 雅一

③2007 年度事業報告

④施設別事業収支計算書

⑤社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

5月31日に、わ・は・わ宮城野にて社会福祉法人みんなの輪の平成20年度第1回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り ● 諸橋悟理事より、平成19年度事業活動報告の説明がなされ、承認可決された ● 本間碩直理事より、平成19年度決算報告がなされ、承認可決された ● 諸橋悟理事より、就業規則の改定の説明がなされ、承認可決された ● 評議員2名の辞任により、事務局から新たな2名が推薦され、承認可決された ● 本間碩直理事より、監事監査報告がなされた

⑥物品支援のお願い

○フェイスタオル（雑巾を縫うために使います。数回使用したものでも可）

○布（エプロン作りに適したもの）

問い合わせ先：022-294-6250 わ・は・わ沖野 安部

みんなの輪通信 vol.33

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

<http://www.minnanowa.org>

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 20 (2008) 年 10 月 13 日

①がんばりました！運動会！

9月12日に青葉体育館にて、第7回仙精連大運動会が行われました。当日は施設職員やデイケアの見学の方なども含めて130名ほどが集まり、綱引きやリレー、パン食い競争などのさまざまな競技に汗を流しました。仙台市の各わ・は・わも、たくさんのメンバーさんが参加し、団体競技では次々と入賞しました。今年は新たな競技としてフライングディスクも盛り込まれ、充実した競技内容を楽しんで過ごすことができた一日でした。来年の各わ・は・わの活躍にも期待ができそうです。

写真①cap.準備体操をしていざ本番！

写真②cap.取れそうで取れない…

②わ・は・わ沖野、引越しました！

こんにちは。わ・は・わ沖野です。わ・は・わ沖野は、8月いっぱいをかけて引越しをしました。9月1日（月）から新しい場所で活動を始めています。引っ越し先は、前の場所から、道路を挟んだすぐ向かいの建物になりました。以前と比べると、かなり広いスペースで活動ができ、メンバーさんからの感想も上々です。また、作業では先日物品支援でご協力いただいたタオル・布類を使い、授産品の作成を始めています。ご協力ありがとうございました。新しい場所でも、元気に活動していきますので、お近くにお越しの際には、どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。

新住所：仙台市若林区沖野3丁目6-55

③みなさんいらしてください！わ・は・わ大郷まつり♪

10月19日わ・は・わ大郷まつりがあります。

今年は開所5周年の節目を迎え、来ていただくお客様に日頃の感謝の気持ちをお伝えできるよう利用者、スタッフ共に準備に励んでいます。

当日は、琴の演奏や、レクダンスの皆さん、わ・は・わオールスターズに出演をお願いし盛大なおまつりにしたいと思っています。

又、さわり製品、国産米粉で作った味明のパン、小牛田のいちごを使った自家製いちごジャム等、いろいろ販売を予定しています。

皆さん是非遊びに来てくださいね！！。

④みんなの輪 職員研修を行いました

8月23、24日にみんなの輪、職員研修を松島にて行いました。この研修は、職員のスキルアップと、日頃顔を合わせる機会の少ない職員同士の交流等も兼ねて実施されました。

今回は、宮城教育大学菅井先生、東北大学吉武先生による講義に加え、グループ毎に分かれての分科会を行い、職員同士が日頃感じている思いや意見を活発に出し合うとても有意義なものとなりました。

この研修で学んだ事を職員一同、これからに生かしていきたいと思います。

最後に、この研修で御講演頂いた菅井先生、吉武先生、お世話になりました松島大観荘の皆様に御礼を申し上げます。

⑤社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

●9月20日に、わ・は・わ宮城野にて社会福祉法人みんなの輪の第2回理事会が行われた。主な議題と討議内容は以下の通り ●社会福祉法人みんなの輪中長期計画（案）について、本間碩直事務局長より資料に基づき提案がなされ、全員異議なく承認可決した。 ●パートタイマーの就業規程の設定について、本間碩直事務局長より、資料に基づき提案がなされ、特に異議なく全員一致でこれを承認可決した。 ●大郷町の町有財産（土地）の一般競争入札への参加について、本間碩直事務局長より、資料に基づき説明がされた。理事長吉武洋子より、土地の用途についてパン工場の建設の計画がある旨説明があった。議長は本件について議場に諮ったところ全員異議なく承認可決した。 ●美里町（小牛田）福祉事業展開に伴う事業者の選定コンペの参加について、本間碩直事務局長より、別紙資料に基づき提案がなされた。議長は意見を求めたところ、諸橋悟理事より、現在、美里町で通所している利用者の活動と乖離しない日中活動の計画も必要ではないか、地元の企業とタイアップした作業が模索出来ればよい等の意見が出された。参加することで承認された。 ●第5号議案の固定資産の取得については、第3号議案が可決承認されたことにより、関連議案の為、取り下げられた。

⑥各施設近況報告 ~宮城野編~

草木染め製品が人気のわ・は・わ宮城野です。春から種を蒔き、夏にすくすくと育った藍の葉を摘んで、先日藍の生葉染めを行ないました。生葉染めは、藍の葉をミキサーで碎き、手で揉んで泡が出ていた間に染まらない、まさに時間との勝負です。また、シルク100%の生地しか染まらないことも特徴です。お日様の力をかりて、より一層鮮やかな青に染まった生地を見て、メンバーさんの表情は達成感に溢れていました。一年でこの時期しかできない藍の生葉染め。ぜひ、皆さんに見ていただきたいです。

みんなの輪通信 vol.34

編集発行 社会福祉法人みんなの輪

<http://www.minnanowa.org>

〒983-0823

仙台市宮城野区燕沢 3-1-10

TEL022-388-4188 FAX022-388-4191

発行 平成 21 (2009) 年 1 月 19 日

①ご挨拶

新年おめでとうございます。皆様よいお年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。本年、社会福祉法人みんなの輪、おかげさまで設立 7 周年を迎えます。福祉を取り巻く厳しい環境の下、なんとか無事に事業を続け発展させてこられたのも、ひとえに皆様方のご理解ご支援の賜物と心より感謝いたします。

障害者自立支援法施行以来、各施設の運営は厳しさを増しており、障害者施設を「出来高払い」で運営させようとしてすること自体、根本的な誤りであり福祉切り捨てです。そんな逆風の中、みんなの輪は今年、利用者の働く場の確保と事業基盤安定化のため、わはわ大郷味明分場に隣接する土地に本格的なパン工場建設予定です。現在設計中で、この秋に完成予定となります。大きな借金をすることになりますが、幸い、あいコープみやぎの全面的なご協力をいただくことができ、また皆様方のご支援をもいただきながら、困難な状況を開拓できると確信しております。

弱者切り捨ての社会にあって、誰もが心豊かに安心して暮らせる地域社会実現のため、微力ながら、役職員一同全力を尽くして参ります。本年も変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人みんなの輪 理事長 吉武洋子

写真①

②「わ・は・わ大郷まつり」開催！

今年も恒例となりました「わ・は・わ大郷祭り」が 10 月 19 日に行われました。今年度は粕川の本場が 5 周年という節目を迎える、午前中には 5 周年の記念式典が行われ、多くの来賓をはじめ、地域・保護者の方々に出席していただきました。午後にはお祭りが行われ、利用者の皆さんのが日々一生懸命に作っているパン、ジャム、無農薬の農作物、竹炭等の手芸製品、色鮮やかなさをり製品が販売されました。また、天気にも恵まれ外の芝生ではお楽しみ販売として、フランクフルト、わたあめ、飴の掴み取りも行われました。その他にも、食堂では地域の方々による琴演奏、わ・は・わオールスターズによる歌が披露され、フィナーレは月 1 回粕川で行っているレクダンスを出演者の方と一緒に踊り、みなさんとても楽しんでいました。多くの方のご協力により今年も盛大に行うことができました。

写真②

写真③

③社会福祉法人みんなの輪 理事会報告

●12 月 27 日社会福祉法人みんなの輪本部において平成 20 年度第 3 回理事会が開催された。協議・決議事項は

次の通り。<第1号議案 パン工場建設について>議長が標記の件について説明を求めたところ、本間碩直事務局長より、資料1に基づき提案がなされた。議長は意見を求めたが、特に意見はなく、本件について議場に諮ったところ全員異議なく承認可決した。<第2号議案 借入金について>議長は標記の件について、説明を求め、本間碩直事務局長より、資料2に基づき提案がなされた。議長は意見を求めたが、特に異議なく全員一致でこれを承認可決した。<第3号議案 定期貯金の内部運用について（定期貯金の取り崩し）>議長が標記の件について説明を求めたところ、本間碩直事務局長より、資料3に基づき説明がなされた。これに対して飯島茂監事より参考意見として自己資金と内部運用はどう違うのかという質問がなされた。これに対して同じ法人内ではあるが緊張感を保つ為貸付金という考え方で定期預金を運用する旨説明があった。議長は意見を求めたが、特に意見はなく、本件について議場に諮ったところ全員異議なく承認可決した。<第4号議案 パン工場建設資金計画について>議長は標記の件について、説明を求め、本間碩直事務局長より、議案書に基づき提案がなされた。議長は他に意見を求めたが、特に意見はなく、本件について議場に諮ったところ全員異議なく承認可決した。<第5号議案 パン工場収支計画について>議長は標記の件について、説明を求め、本間碩直事務局長より、資料4に基づき提案がなされた。標記の件について議場に諮ったところ、特に異議なく全員一致で、これを承認可決した。<第6号議案 美里町障害福祉サービス事業所整備を実施する事業者選定募集要項について>議長は標記の件について、説明を求め、本間碩直事務局長より、資料5に基づき提案がなされた。標記の件について議場に諮ったところ、特に異議なく全員一致で、これを承認可決した。<第7号議案 補正予算について>議長は標記の件について、説明を求め、本間碩直事務局長より、別紙資料6に基づき提案がなされた。標記の件について議場に諮ったところ、特に異議なく全員一致で、これを承認可決した。<第8号議案 社会福祉法人みんなの輪 役員報酬規程の一部改正について>議長は標記の件について、説明を求め、諸橋悟理事より、当日資料1に基づき提案がなされた。標記の件について議場に諮ったところ、特に異議なく全員一致で、これを承認可決した。<第9号議案 社会福祉法人みんなの輪 慶弔規程に弔意行為を加えることについて>議長は標記の件について、説明を求め、諸橋悟理事より、当日資料2に基づき提案がなされた。標記の件について議場に諮ったところ、特に異議なく全員一致で、これを承認可決した。以上

④各施設近況報告～広瀬編～

わ・は・わ広瀬では、様々な活動の中でも中心となる活動として、リサイクル石けん「さいかち」作りを行っております。さいかちとは、まめ科サイカチ属、落葉高木です。サポニンを含む実は、広く石けん代わりに使われました。わ・は・わ広瀬の近くには、このサイカチの木が数多く生えているサイカチ沼が在り、わ・は・わ広瀬のすぐそばでサイカチ川が、広瀬川に合流します。私達の活動も、サイカチの大木のように育ち、また小川のようなサイカチ川が、大きな広瀬川へ、さらに大海へと広がっていくようにと願いを込めて「さいかち」と名付けました。さいかちは、台所用洗剤・洗濯洗剤として、その他掃除用の石けんとしてもご利用頂けます。人や自然に優しいリサイクル石けん「さいかち」を是非一度ご利用下さい。